

# 西東京市学校施設適正規模・適正配置に関する基本方針

西東京市教育委員会

令和3年2月



# 目次

---

はじめに.....	1
1 学校施設を取り巻く現状と課題.....	2
(1) これまでの取組.....	2
(2) 西東京市の人口、児童・生徒数の見通し.....	2
(3) 教育内容の変化.....	4
(4) 施設の更新需要と公共施設再編.....	4
2 西東京市学校施設適正規模・適正配置に関する基本方針について.....	6
2-1 基本方針の位置付け.....	6
2-2 適正規模・適正配置の教育施策上の必要性.....	6
3 適正規模・適正配置の基本的な考え方.....	8
3-1 本市の適正規模・適正配置検討・推進のポイント.....	8
3-2 適正規模・適正配置の基準・視点.....	9
(1) 適正な学校規模の確保.....	9
(2) 効率的な学校運営の確保.....	10
(3) 通学距離及び通学区域の設定.....	10
(4) 教育施策等への対応.....	11
(5) 学校施設の有効活用と多機能化、複合化.....	13
(6) 老朽化施設の計画的な更新.....	14
4 適正規模・適正配置の取組方針.....	15
4-1 個別施設計画の検討.....	15
(1) 学級数の推移.....	15
(2) 施設老朽化の状況.....	17
(3) 複数校の一体的な検討.....	18
4-2 学校施設の方向性の検討.....	19
(1) 学級数が基準よりも少ない学校.....	19
(2) 学級数が基準よりも多い学校.....	19
4-3 適正規模・適正配置の取組推進時の留意点.....	20
資料編.....	22
(1) 学校施設配置の状況.....	22
(2) 各学校の児童・生徒数、施設等に関する現状.....	24

## はじめに

---

西東京市では、昭和 30 年代、40 年代の人口増加に伴い多くの学校を建設しました。これらの施設は、今後、一斉に更新時期を迎えることとなりますが、人口が減少していく中、本市の厳しい財政状況を考慮した、効率的かつ効果的な学校施設の整備・充実が必要となっています。

また、これからの学校施設の在り方は、教育施設としての機能のみならず、防災・地域コミュニティの拠点としての機能など、児童・生徒、保護者、地域住民等にとっての多面的な機能が求められています。

こうしたことから、本市では、学校を取り巻く状況の変化に対応するため、児童・生徒数の推計等のデータに基づき「西東京市学校施設適正規模・適正配置に関する基本方針」の見直しを行うこととしました。

見直しに当たっては、「西東京市学校施設適正規模・適正配置検討懇談会（以下、「懇談会」といいます。）」を設置し、学識経験者、学校長、保護者、公募市民等による検討を行いました。時代の変化に対応した新たな基本方針の策定に向けて、今後の児童・生徒数や学級数の推移を踏まえ、地域ごとの状況に応じた学校施設の適正規模・適正配置の在り方について、懇談会において検討を重ねてきました。

この基本方針は、懇談会からの報告書や、主に行財政改革の視点から提出された西東京市行財政改革推進委員会の意見書を基に見直しを行ったものであり、市立小・中学校の規模適正化及び適正配置に向けて、学校・家庭・地域・行政の四者の連携・協働で取組を推進するために、今後、40 年先を見据えた中長期的な対応について、適正規模・適正配置の基本的な考え方や基準、進め方を示すものです。

また、教育委員会では、本市の公共施設等総合管理計画に基づき、今後、学校施設を対象として、実際の整備内容や時期、費用等を具体的に示す学校施設個別施設計画を策定していきますが、その際には、この基本方針の内容に沿って検討を進めていくこととなります。

なお、新型コロナウイルス感染症は、その感染拡大を防止するために、全国的に学校の臨時休業措置が約 3 か月間にわたって取られるなど、教育面のみならず市民生活に多大な影響を与えています。こうしたことを契機として、現在、国において「新しい時代の学びの環境の姿」についての検討が進められています。

今後の個別施設計画の策定や取組に当たっては、こうした国や東京都の動向を踏まえつつ、必要に応じて基本方針の見直しを行いながら、具体的な内容についての検討を行います。

# 1 学校施設を取り巻く現状と課題

---

## (1) これまでの取組

本市では、大型マンションの建設や宅地開発による特定地域の児童・生徒数の急激な増加、合併により市境を中心に位置が近接する学校が生じたことによる指定校変更特例措置制度<sup>1</sup>の解消といった課題に対処するため、平成 20 年 11 月に「西東京市学校施設適正規模・適正配置に関する基本方針」を策定しました。この方針は、本市で学ぶ子どもたちにとって、より良い教育環境を実現することを念頭に置きながら、学校施設の規模・配置の適正化についてのおよそ 10 年間の基本的な方針を示したものでした。これ以降、合併後の特例措置の解消、児童・生徒数の動向を踏まえた通学区域の変更及び学校の増改築の取組を実施し、小規模化と近接への対応では、平成 26 年度末に泉小学校と住吉小学校の統合を実施したほか、いびつな通学区域の解消や老朽化に伴う大規模改修や建替えなどに取り組んできました。

しかしながら、依然として児童・生徒数の減少により小規模化する学校や、過去の住宅開発等により学校施設規模を超える児童・生徒数の増加に直面している学校が存在しています。児童・生徒数の動向や教育環境の変化を長期的な視点で見据えながら、引き続き本市の学校施設の規模・配置の適正化に取り組んでいく必要があります。

## (2) 西東京市の人口、児童・生徒数の見通し

本市の人口は、これまで増加傾向にあり、平成 31 年 1 月 1 日現在では 202,817 人となっていました。平成 29 年 11 月に公表した西東京市人口推計調査報告書によると、今後は減少傾向で推移し、令和 19 年には 196,516 人と、6,301 人（3.1%）減少することが見込まれています。

---

<sup>1</sup> 指定校変更特例措置制度・・・合併以降、旧市の通学区域を継承しながら弾力的な運用を行うため、旧市境を越えて指定校よりも近い方の学校に入学できるようにした制度で、旧市境の通学区域の見直しにより平成 23 年度に廃止している。

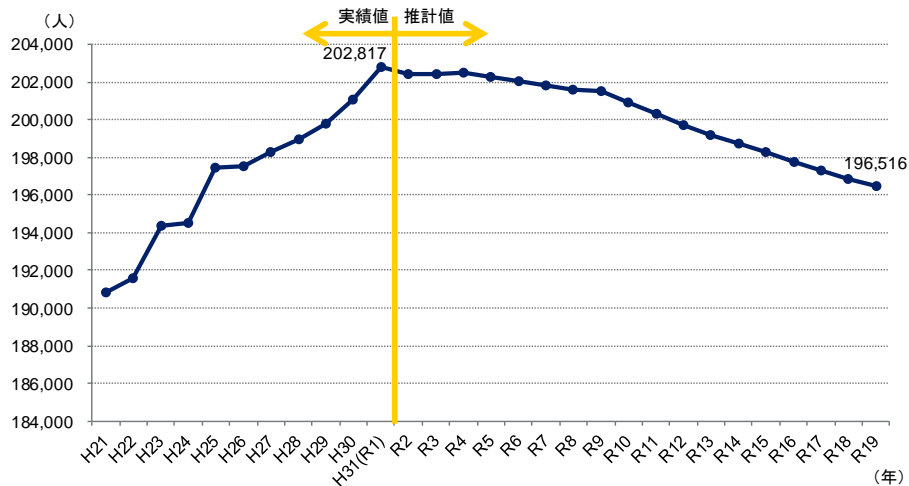


図 1 本市の総人口の推移及び推計

【資料】：「西東京市人口推計調査報告書」

また、本市の児童・生徒数は、今後微増し、児童数は令和4年度に9,780人、生徒数は令和6年度に4,244人になりますが、以降は長期的に減少傾向になることが見込まれます。

今後、児童・生徒数の減少が見込まれる中で、将来を担う子どもにより良い教育環境の整備と教育の質の充実を図ることは、国の政策においても重要な位置付けとなっています。児童・生徒の教育条件の改善を中心に据え、学級数の多寡により学習指導面や学校運営面に制約や課題が生じないよう、教育内容や指導方法の改善の方向性も勘案しつつ、学校施設の規模・配置の適正化に取り組んでいく必要があります。

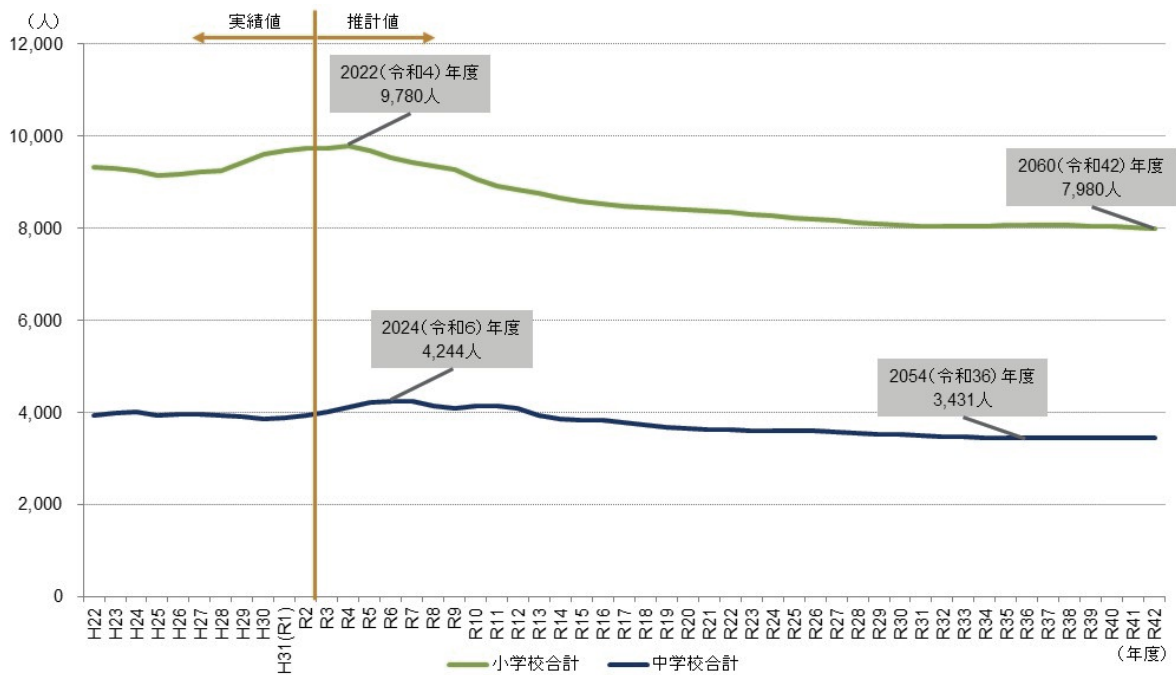


図 2 本市の児童・生徒数の推移及び推計(※)

※平成22年～令和2年：5月1日時点の児童・生徒数（実績値）

令和3～42年：将来推計値

【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」、推計値 「就学人口推計結果」

### (3) 教育内容の変化

AI（人工知能）の進化や「Society 5.0（超スマート社会）<sup>2</sup>」の実現、更なるグローバル化の進展、「人生100年時代」への突入など、近年の社会の変化に伴い、未来の創り手となる子どもたちに求められる資質・能力も変化しつつあります。国では、単にプログラミング教育や外国語教育などのスキルを学習するにとどまらず、主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」の視点）に基づき、子どもたちが自ら課題を発見し、他者と協力しながら、主体的に学び合う活動など、児童・生徒の意欲や知的好奇心を十分に引き出しながら教育を実施することが重要としています。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、国において、少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備やICTの活用など、「令和時代のスタンダード」としての「新しい時代の学びの環境の姿」についての検討が進められています。

本市においても、今後は、これまでの教育実践の蓄積を引き継ぎつつ、授業を工夫・改善することを前提とした上で、未来の創り手となる資質・能力を育むため、少人数指導や習熟度別学習など、多様な教育活動が展開できるよう一定の学校・学級規模を確保することが求められます。

### (4) 施設の更新需要と公共施設再編

我が国では、昭和30年代から急速な経済発展が進み、多くの公共施設が短期間のうちに集中的に整備されています。これらの公共施設は、今後、一斉に更新時期を迎えることとなります。

本市においても同様の状況となっておりますが、特に、第二次ベビーブーム世代の増加に伴って学校施設が集中的に建設され、現在の学校施設規模は、公共施設全体の延べ床面積のうち約6割を占めています。

これらの学校施設の半数以上が昭和30～40年代に建設されたものであり、老朽化が進んでいる中で、児童・生徒の安全を確保できるよう、今後、計画的に修繕や更新を行う必要があります。

---

<sup>2</sup> Society 5.0（超スマート社会）・・・サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）のこと。狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指す。

本市では、公共施設が一斉に更新時期を迎えるという課題に対応していくため、平成 28 年度に公共施設等総合管理計画を策定しており、厳しい財政状況の下、全ての公共施設の更新需要に対応することは困難であるとして、公共施設の方向性を「総量抑制」と定めています。また、公共施設保有量（総延べ床面積）を令和 15 年度までに 10%削減することを目指し、公共施設の再編、適正配置・有効活用といった取組が進められています。

本市の公共施設の約 6 割を占める学校施設の対策は、本市のまちづくりにとって大きな課題となっています。安全、安心で質の高い教育環境を確保していくとともに、地域の拠点施設としての役割が求められている中で、適正規模・適正配置を踏まえ、公共施設の再編と連携した取組が求められています。

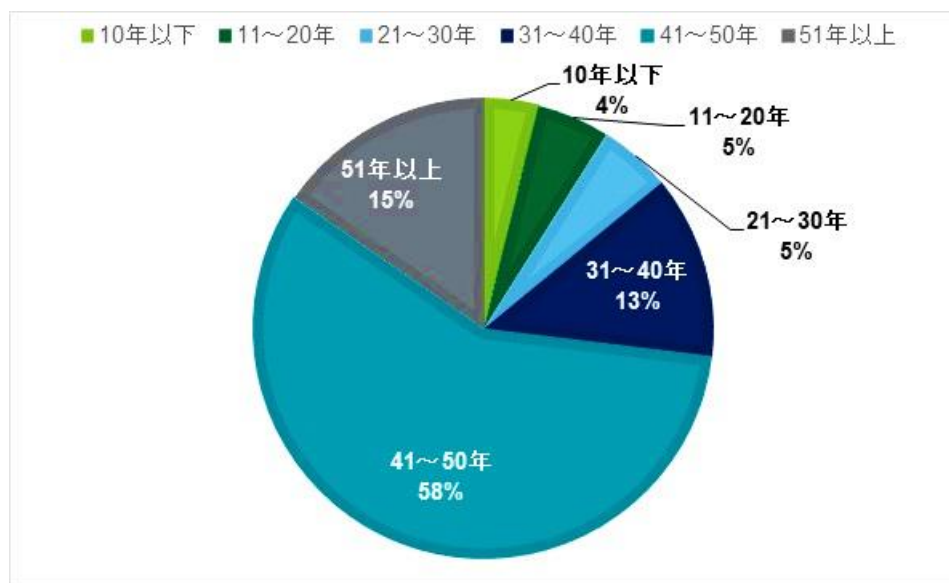


図 3 学校校舎経過年数の割合

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」

※令和 2 年末時点に修正



## 2 西東京市学校施設適正規模・適正配置に関する基本方針について

### 2-1 基本方針の位置付け

西東京市学校施設適正規模・適正配置に関する基本方針（以下、「基本方針」といいます。）は、西東京市総合計画及び教育計画を踏まえるとともに、教育計画に基づく各個別計画や他部門の関連計画と適切な連携を図りながら推進するものです。

その上で、基本方針は、市立小・中学校の規模の適正化及び適正配置に向けて、学校・家庭・地域・行政の四者の連携・協働で取組を推進するために、今後の中長期的な対応について、適正規模・適正配置の基本的な考え方や基準、進め方を示すものです。

なお、今後の人口動態により児童・生徒数の推計値が変動する可能性があるため、10年を目途に時点修正を行うこととします。

### 2-2 適正規模・適正配置の教育施策上の必要性

教育委員会では、次のとおり教育目標を設定し、さらに、実現に向けて「西東京市教育計画（平成31年（2019）年度～2023年度）」を策定しています。

現行の教育計画は、4つの基本方針に基づき構成され、そのうちの「基本方針3 持続可能な社会の創り手を育むための教育環境の充実に向けて」において、施策及び取組事業として「学校施設の適正規模・適正配置の検討」を位置付けています。

学校施設の適正規模・適正配置は、教育環境の充実を図るとともに、子どもたちの生きる力の育成や社会教育の充実につながる施策であり、教育計画における多くの施策と関連する重要な施策です。本市の実情を踏まえ、文部科学省が平成27年に公表した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」、平成31年に公表した「小学校施設整備指針」、「中学校施設整備指針」を基に、基本方針、個別施設計画に基づき実行していく必要があります。

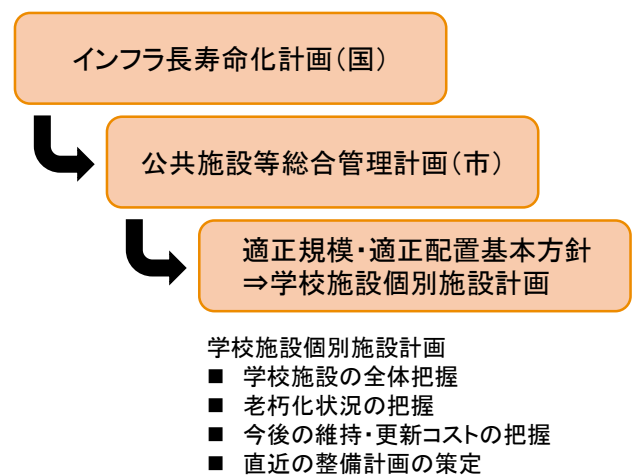


図 4 国や市の計画と基本方針の関係

### 西東京市教育委員会の教育目標

西東京市教育委員会は、すべての市民が進んで知性、感性を磨き、道徳心や体力を高め、人間性を豊かにし、国際社会の平和と発展に貢献することを願い、次に掲げる市民の育成を教育目標とします。

- 互いの生命と人格を尊重し、思いやりと規範意識のある市民
- 社会の一員として、勤労と責任を重んじ、広く社会に貢献しようとする市民
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな市民
- 伝統と文化を尊重し、自然と郷土を愛するとともに、環境の保全に寄与する市民

また、学校教育及び社会教育を充実し、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を図ります。

そして、教育は、学校、家庭、地域及び行政が連携し、それぞれが責任を果たして行わなければならないとの認識に立って、ともに学び・ともに成長し・ともに励ましあう自主的・自発的活動を推進し、すべての市民が教育に参加することを目指します。

図 5 西東京市教育委員会の教育目標

教育計画では、教育目標の実現に向けて以下の1から4までの基本方針(将来像)を掲げ、基本方針を基に38施策を展開することとしています。

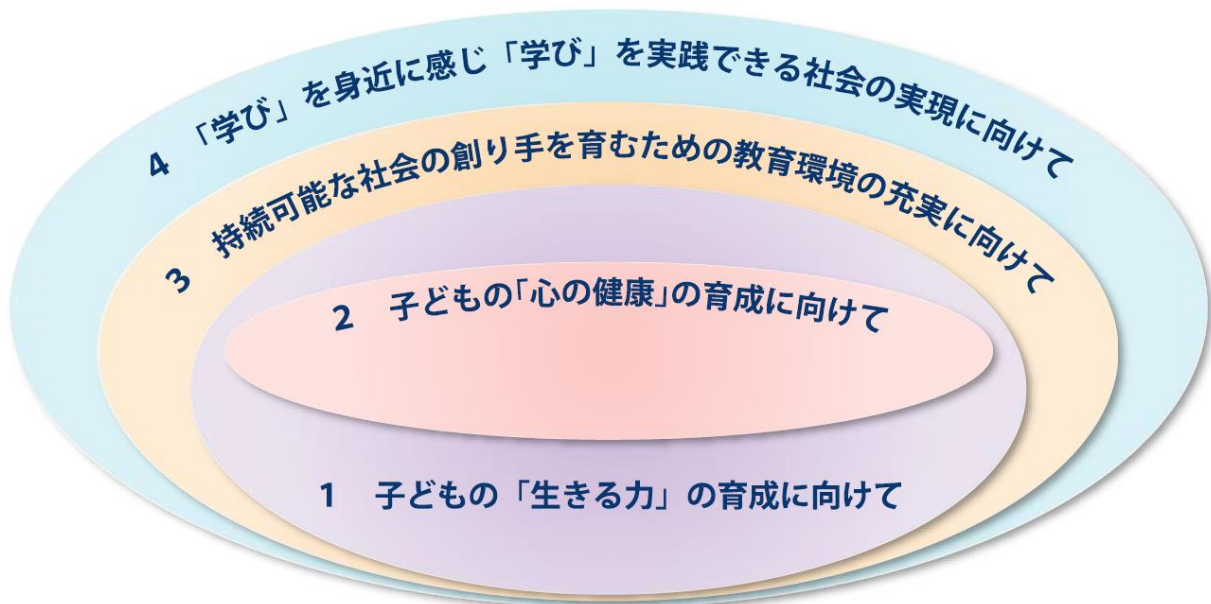


図 6 西東京市教育計画の基本方針イメージ図

### 3 適正規模・適正配置の基本的な考え方

#### 3-1 本市の適正規模・適正配置検討・推進のポイント

本市の学校施設の適正規模・適正配置について、懇談会報告書において示された以下の5つのポイントを踏まえて検討、取組を推進していきます。

##### 【ポイント①】教育効果の向上を踏まえた取組

○子どもの教育環境の改善を中心に据え、学校規模を検討するとともに、全市的なバランスや地域の実情を考慮した最適な学校の適正配置を目指すことが重要である。

学校の規模や配置、複合化などを検討する際には、配置バランスや地域の実情を考慮するとともに、地域との連携を含め教育効果を向上させる視点を重視していきます。

##### 【ポイント②】地域との対話による学校づくり

○丁寧な情報提供、説明、十分な対話を通して、保護者・地域住民と協働で、活力ある学校づくりに向けた合意形成を図る必要がある。

小規模校・大規模校のメリット・デメリットを踏まえつつ、保護者や地域住民と十分な議論を重ねて合意形成を図り、活力ある学校づくりに向けた検討を行います。

##### 【ポイント③】学校施設に求められる役割

○学校教育における義務教育期間の9年間の連続性、多様な指導、地域コミュニティとの関係性を考慮して検討する必要がある。

小中一貫教育の取組や多様な学習環境の実現など学校教育施策への対応に加え、生涯学習や地域コミュニティの拠点としての役割も視野に入れた検討を行います。

##### 【ポイント④】効果的な教育活動

○中長期的に地域の実情や児童・生徒数の実態を踏まえ、それぞれの規模に応じた教育の充実にに向けた方策を検討する必要がある。

地域コミュニティやまちづくりの状況のほか、児童・生徒数からの学級数の推移を踏まえた学校規模に応じて、効果的な教育活動を行うことができる取組の検討を行います。

##### 【ポイント⑤】特定課題への対応

○学校施設の老朽化と合併以降の課題となっている谷戸小学校と谷戸第二小学校、柳沢小学校と保谷第二小学校の近接については、将来的な児童数の動向や通学距離等を勘案し、教育環境の向上や複合化の視点も踏まえながら統廃合も視野に入れて対応を検討する必要がある。

近接配置の課題解決を図るため、ひばりが丘中学校跡地の移転用地としての活用や、小中一貫校、施設複合化、通学区域の見直しなど、多角的な検討を行います。

## 3-2 適正規模・適正配置の基準・視点

### (1) 適正な学校規模の確保

子どもたちが、学校における集団生活の中で社会性を身に付け、豊かな人間関係を築くためには、全ての学年で学級替えが可能であることが必要となります。さらに、令和2年度以降の新学習指導要領の全面実施など、今後多様化すると見込まれる教育内容・活動に対応可能な集団規模の確保、様々な指導方法や授業展開を可能とするための学校規模を確保する必要があります。

#### 【適正規模・適正配置の基準】

##### ◆1学年の学級数

学校教育法施行規則第41条及び第79条では、学級数の標準について、小学校、中学校ともに12～18学級（ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない）と示しており、1学年当たりに換算すると小学校は2～3学級、中学校は4～6学級が標準とされています。また、文部科学省が作成した適正規模・適正配置に関する手引では、中学校における望ましい学級数を9学級以上としています。これらを踏まえ、本市における1学年当たりの学級数の基準を次のとおりとして検討を進めていきます。

【小学校】 各学年2学級以上      【中学校】 各学年3学級以上

※なお、文部科学省では、従来から25学級以上の学校を大規模校、31学級以上の学校を過大規模校とし、過大規模校についてはその解消を図るよう設置者に対して促しています。

##### ◆1学級の児童・生徒数

東京都教育委員会が定める東京都公立小学校、中学校、義務教育学校及び中等教育学校前期課程の学級編制基準では、東京都の公立の小学校、中学校の1学級当たりの児童・生徒数の基準について次のとおりとしており、本市においても同様の基準として検討を進めていきます。

【小学校】 1、2年生は35人、3年生以上は40人

【中学校】 1年生は35人、2年生以上は40人

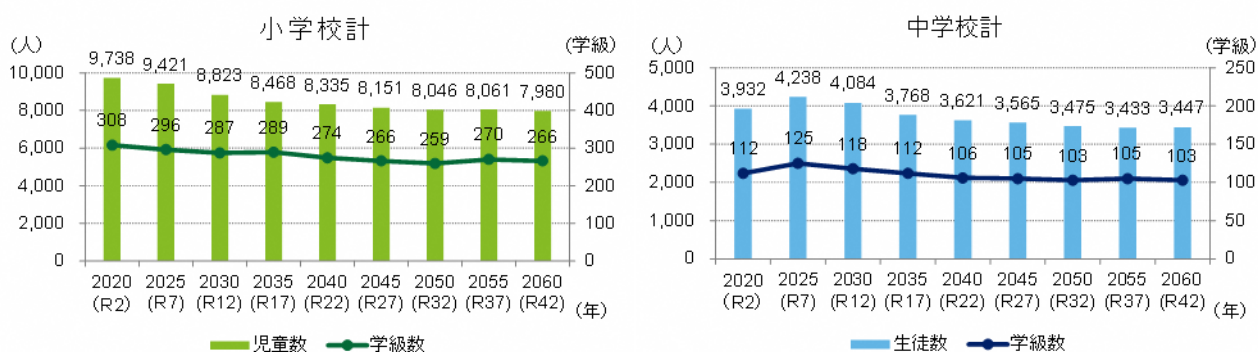
※この基準は令和3年1月現在の法令等に基づくものです。現在、国において、少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備について、法改正も含めて検討が進められており、今後の国や東京都の動向により、この基準を見直すこととします。

## (2) 効率的な学校運営の確保

学校運営において、今後多様化すると見込まれる教育内容・活動に対応するには、効率的な学校運営を可能にする児童・生徒数を維持していくことが必要であり、小規模化や過大規模化は、財政面、人員配置面から効率性に課題が生じることとなります。従って、学校規模に問題がある場合には、他校との統廃合や校地の売却処分等、新しい教育課題に対応する資源の効率的な配分方を検討する必要があります。また、教育に限らず将来にわたって行政サービスの維持・向上を図る観点からも、公共施設等総合管理計画で示す指針等に基づいて、同様の方策を検討する必要があります。

### 【適正規模・適正配置の視点】

児童・生徒数の推計からは、全体としては、年々児童・生徒数が減少していく中、各学校では増減の波が見られます。また、現在児童・生徒数の多い学校の減少幅が大きく、児童・生徒数の少ない学校の減少幅は小さいという傾向が見られます。推計の結果、単学級となる学年が生じる見込みの学校はありませんが、1クラス当たりの人数が基準を大きく下回る学校があることから、施設更新の検討に当たっては、隣接校との通学区域の調整を視野に入れるとともに、規模や内容の検討を行う必要があります。



※令和2年については令和2年5月1日現在の実績数値

図7 児童・生徒数及び学級数(現行基準)の推計

【資料】：推計値「就学人口推計結果」

## (3) 通学距離及び通学区域の設定

義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令では、通学距離について、小学校はおおむね4 km 以内、中学校はおおむね6 km 以内を公立小・中学校施設費の国庫負担対象となる学校統合の条件として示されています。

通学距離については、前述の基準を踏まえながらも、一律に当てはめるのではなく、現在の学校施設の配置状況を勘案し、通学時における児童・生徒の心身への負担を配慮し検討するとともに、通学路合同点検等を通じて通学路の安全確保に努めます。

また、通学区域の設定に当たっては、全市的な通学距離等のバランスを考慮するとともに、「小学校と中学校の通学区域の整合性」、「地域コミュニティとの整合」、「幹線道路、河川、鉄道の線路等の通学環境の安全確保」等の観点に配慮していきます。

#### 【取組の視点】

現在の通学区域を変更する必要がある場合には、検討に当たって「防犯面や交通安全面で児童の安全を確保できる環境、距離」、「児童・生徒数の特定の学校への偏重の防止」、「可能な限りの校舎の増改築回避」、「児童・生徒及び保護者にとって分かりやすい区域割」、「学校周辺地域の状況やコミュニティへの配慮」の視点を考慮し、通学区域変更時のシミュレーションや地域での検討委員会の設置などにより、十分な調査・検討を行う必要があります。

本市では学校選択制度の導入から15年以上が経過しており、最寄りの学校に通える、希望する部活動のある学校に通えるなどの意見があります。一方で、制度の活用による児童・生徒数の増減により、学級編制や教員の体制面における課題が生じる恐れがあるとともに、児童・生徒数の見込みが困難となることから、メリット・デメリットを検証した上で、制度の見直しも検討する必要があります。

## (4) 教育施策等への対応

学校施設の適正規模の検討に当たっては、通常の教科指導のほか、習熟度別指導、少人数指導など、多様な指導方法や学校と地域の連携・協働など、本市が取り組む教育施策への対応に加え、公共施設等総合管理計画が方向性として示している生涯学習や地域コミュニティ等の拠点としての周辺施設との複合化も視野に進めることが必要です。

#### 【取組の視点】

##### ◆変化する教育環境への対応

小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から従来の学習指導要領の改訂により、指導内容が変更されます。改訂された学習指導要領では、主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」の視点）に基づき、子どもたちが自ら課題を発見し、他者と協力し合いながら、主体的に学び合う活動など、児童・生徒の意欲や知的好奇心を十分に引き出しながら教育を実施することとしています。その上で、外国語教育やプログラミング教育など、新たな教育手法を示しており、そうした教育手法の変化には、指導上に必要とする機器や教育空間の変化も伴います。

#### ◆地域との連携・協働

平成 29 年 4 月 1 日施行の地方教育行政の組織及び運営に関する法律において、地域住民等の協力を得て、社会総がかりで教育を実現するための制度として、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）<sup>3</sup>が新たに規定されました。また、条文において、地方公共団体は設置に努める必要性が規定されています。

同様に、平成 29 年 4 月 1 日施行の社会教育法第 5 条第 2 項等の追加により、学校を核とした地域づくりを推進するために、地域学校協働活動についての法整備が行われました。

上記の 2 制度における目的は、学校と地域が互いに連携・協働するための体制づくりであり、制度上の組織運営や活動を通じた連携・協働により学校や地域活動に還元させることです。

本市では、令和 3 年度以降の制度運用に向けた体制構築を進めています。

#### ◆西東京市独自の小中一貫教育

本市では、令和 2 年度から、小学校から中学校への進学時に生じやすい、生活面や学習面の段差を解消するため、独自の小中一貫教育の取組を実施します。市内一部地域や特定の学校のみでの取組ではなく、全市的な取組として実施するものであり、具体的には、中学校教員による出前講座や中学校一斉体験会の実施、算数・数学科及び英語科における小中一貫カリキュラムの導入、小・中学校間の垣根を越えた生活ルールの導入など、ソフト面で対応を図っていきます。

学級数が基準以下となる小学校と中学校とが隣接している場合などで、近隣の小学校間又は中学校間での統合などによる適正規模化が困難な場合には、学校区や地域性を考慮しつつ、小中一貫校の可能性も検討する必要があります。

<sup>3</sup> 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）・・・学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 47 条の 5）に基づいた仕組みをいう。

## (5) 学校施設の有効活用と多機能化、複合化

教室、体育館等の開放や放課後子供教室<sup>4</sup>などのための地域開放を前提とした施設整備のほか、児童・生徒数の減少に伴って余裕教室等の有効活用や、学童クラブ、社会教育施設、福祉施設など他の施設との複合化を検討します。これらの検討に当たっては、各学校の状況や地域の実情に応じて対応するとともに、施設管理の方法や児童・生徒と利用者の動線を十分に考慮し、必要な対策を講じます。

また、老朽化した学校プールについては、施設更新を前提とするのではなく、民間や公共のプール施設を活用した水泳指導の在り方について検討を行います。

ひばりが丘中学校が令和3年度に新校舎に移転することから、その跡地の移転用地としての利用など、学校施設の近接配置の課題解決を図るための方策の一つとして検討を行います。

### 【取組の視点】

近年、全国各地において異常気象による災害が発生しており、過去の災害レベルを超える災害の発生により、甚大な被害をもたらす災害が増えています。こうした状況において、災害時の地域の防災拠点また避難施設である学校施設は、本来の設置目的に加え、地域住民にとって重要な役割を果たすべき施設となっています。

また、学校施設は社会教育の普及や子どもたちの安全な遊び場を確保するため、学校教育に支障のない範囲での施設使用や全市立小学校での放課後子供教室などの取組を進めています。

他自治体では、本市で実施しているスポーツ利用のほか、社会福祉施設や老人福祉施設、公民館や図書館機能を備えた複合化施設を整備することにより、他施設機能との交流を進め、事業内容の拡充を行っている例があります。学校施設を活用し、学校周辺の公共施設を統合することで、既存の地域コミュニティを維持したまま、統廃合することなく公共施設の総量抑制を図ることも考えられます。

学校の適正規模の検討に併せ、今後は、地域ニーズとの整合性を図りつつ、地域における学校施設の在り方を検討していく必要があります。

<sup>4</sup> 放課後子供教室・・・子どもたちが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるよう、地域住民等の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として、学習や体験・交流活動などを行う事業のこと。



## (6) 老朽化施設の計画的な更新

学校施設は、児童・生徒の学習及び生活の場であり、充実した学校教育及び社会教育活動を展開できる機能的な施設環境と安全性、防災性、防犯性、衛生的な施設水準を整えることが必要です。

施設の更新に当たっては、統廃合や複合化の検討とともに、将来的な児童・生徒数の減少により余裕教室が増加する場合を想定し、転用可能な施設設計とともに、ライフサイクルコスト<sup>5</sup>の軽減に向けて、将来に発生する改修費用を抑制することができる設計や仕様の検討を行うこととします。

### 【取組の視点】

今後、一斉に更新時期を迎える学校施設について、施設の劣化状況から長寿命化<sup>6</sup>と建替えを組み合わせ、更新費用を平準化させていくことを検討する必要があります。

これらの検討に当たっては、学校施設の中心となる校舎の建築年数をもとに、児童・生徒数の推計に基づく学級数の変動見込みと併せて優先順位を決め、対応していく必要があります。

また、児童・生徒数の推計からは、全体として減少傾向の中、各学校単位で増加する時期や減少する時期がみられることから、これらの施設更新に際しては、将来的な転用を考慮し、スケルトン・インフィル手法<sup>7</sup>などの導入を検討する必要があります。

<sup>5</sup> ライフサイクルコスト・・・建物のライフサイクル（企画設計から建設、運営管理及び解体に至るまでの建物の一生）に要する総費用のこと。建物にかかる費用は建設費だけではなく、日常の保守、修繕費用、何年かごとの大規模な改修費用等建物を維持するための費用を含む。

<sup>6</sup> 長寿命化・・・老朽化した建物について、物理的な不具合を直し建物の耐久性を高めることに加え、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる改修を行うこと。

<sup>7</sup> スケルトン・インフィル手法・・・建物のスケルトン（柱・梁・床等の構造躯体）とインフィル（住戸内の内装・設備等）とを分離した工法を指す。老朽化したり、使いにくくなったりしてもインフィル部分のみの取り替えて対処することができる。また、建物を長く使うことができるためライフサイクルで見ると1年当たりの費用が安くなる。

## 4 適正規模・適正配置の取組方針

### 4-1 個別施設計画の検討

前述のとおり、全ての公共施設の更新需要に対応することは困難であり、隣接校との通学区域の調整、近接校の統合や複合化などを検討するほか、工法として長寿命化と建替えとの方策を組み合わせる更新費用を平準化させていく視点も必要です。

今後、学校施設の個別施設計画における具体的な取組を策定するためには、以下の視点で検討を進めていく必要があります。

#### (1) 学級数の推移

児童・生徒数の推計から、合計数では年々減少していく傾向にありますが、学校ごとにみると増減の波があり、その年度は学校ごとに異なっています。現在の学級数との差異が生じてくる時期を見据えた検討が必要です。

なお、推計では学年が単学級となる学校はありませんでしたが、柳沢中学校は令和 42 年まで、基準としている 9 学級を下回る見込みとなっています。

また、1 学級当たりの人数が基準を大きく下回る場合には、転居などの状況により単学級となる可能性もあるため、実態を把握しつつ、このような状態が複数学年・複数年連続する場合には、その学校に隣接する他の学校とともに優先的に検討を開始する必要があります。

【表 1 学級数が標準（12～18 学級）よりも多い学校・学級数】

学校名	現行基準		【参考】35 人編成（次頁※参照）		令和 2 年度の学級数
	学級数	見込まれる年度	学級数	見込まれる年度	
田無小学校	19～24	令和 2～22 年度	19～24	令和 2～25 年度	20
保谷第一小学校	19～20	令和 5～7 年度	19～21	令和 5～11 年度	18
中原小学校	19～25	令和 2～12 年度	19～26	令和 2～12 年度	24
	19～20	令和 31～36 年度	19～23	令和 31～42 年度	24
向台小学校	21～26	令和 2～9 年度	19～27	令和 2～13 年度	26
	19～24	令和 24～41 年度	20～24	令和 24～42 年度	26
碧山小学校	19	令和 4～5 年度	19～21	令和 4～10 年度	18
栄小学校	19～20	令和 2～4 年度	19～20	令和 2～8 年度	19
上向台小学校	19～23	令和 2～8 年度	19～23	令和 2～12 年度	23
	19～20	令和 24～32 年度	19～24	令和 24～38 年度	23
けやき小学校	20～21	令和 2～5 年度	19～22	令和 2～13 年度	21
田無第四中学校	19	令和 5～7 年度	—	—	14

【表2 学級数が基準（9学級）よりも少ない学校・学級数】

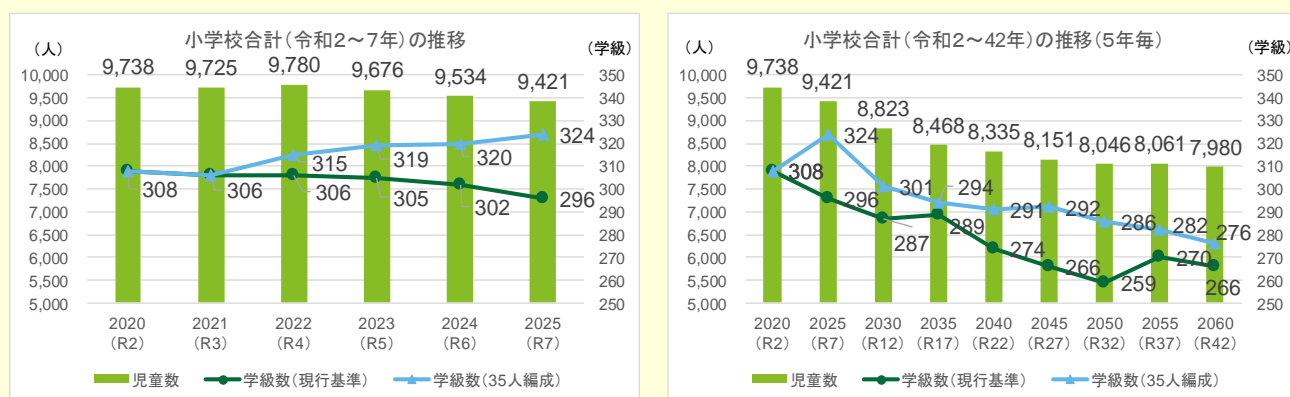
学校名	学級数	見込まれる年度	【参考】令和2年度
柳沢中学校	6～8学級	令和2～42年度	6学級

【参考】少人数学級を実施する場合の学級数の推移

現在、国において少人数学級の実現に向けた検討が進められていますが、移行に際しては教職員定数や教室数など、安定した教育環境を確保するための対応が全国的な課題となってくるものと考えられています。特に、人口の減少幅が少ない都市部については、“実情に応じた段階的な実施”など、弾力的な取扱いが必要であるとの認識が示されています。

参考として、児童数の推計を基に小学校における現行基準による編制と35人編制※による2パターンの学級数の推移を示しています（図8）。現行基準と比較して多くの教室を確保する必要が生じるため、今後の国や東京都の動向に留意しつつ、取組を進めていく必要があります。

なお、小学校全体で最も学級数が多くなるのは、令和7年度の324学級となる見込みです。



※令和2年については令和2年5月1日現在の実績数値

図8 児童数・学級数の推計(現行基準・35人編成)

【資料】：推計値「就学人口推計結果」

※35人編成について…現行法令による学級編成では、小学1年生のみが上限35人とされています。本方針における「35人編成」は、令和3年度に小学2年生の上限を35人に引き下げ、以降年度ごとに小学3年生から順番に引き下げを行い、令和7年度までに小学校の全学年を35人編成とする法改正があることを想定しているものです。なお、東京都では、既に東京都の学級編成基準により小学1～2年生及び中学1年生で35人編成となっているため、法改正の影響が生じるのは令和4年度からとなります。

## (2) 施設老朽化の状況

学校には、校舎のほか体育館やプールなど、建築年の異なる複数の建築物があります。今後の適正規模・適正配置の検討に当たっては、延床面積が大きく、学校の規模に直結する“校舎”の経過年数を中心として考えていく必要があります。また、経過年数が50年を超えている校舎がある学校が複数あり、これらの学校については優先的に検討を開始する必要があります。

劣化診断などから長寿命化対応が可能な学校を検証するとともに、経過年数が同等の学校との比較により、施設更新の方法を決定していきます。

【表3 経過年数が50年以上の校舎がある学校、延べ床面積、経過年数】

学校名	延床面積	経過年数（令和2年末現在）
ひばりが丘中学校（校舎1～4）	5,816 m <sup>2</sup>	60、37*、49、48、48年
田無第三中学校（校舎1～4）	4,593 m <sup>2</sup>	59、58、49*、49、36年
保谷小学校（校舎1～4）	5,760 m <sup>2</sup>	53、52、51、42年
保谷第一小学校（校舎1～6）	4,931 m <sup>2</sup>	53、51、42、42、42、41年
保谷中学校（校舎1～4）	4,598 m <sup>2</sup>	52、52、50、35年
芝久保小学校（校舎1、2）	5,067 m <sup>2</sup>	52、51年
栄小学校（校舎1～4）	4,349 m <sup>2</sup>	50、50、48、30年
向台小学校（校舎1～4）	5,932 m <sup>2</sup>	50、50、40、5年
谷戸小学校（校舎1～5）	4,280 m <sup>2</sup>	50、41、41、41、41年

※校舎に増築した玄関部分の経過年数

### (3) 複数校の一体的な検討

施設更新は、事業規模が大きく、多額の財政負担が生じることから、学校施設の建替えや大規模改修等の実施に当たっては、特定の年度に集中することがないよう検討し、予算の平準化に配慮する必要があります。このことから、前述の(1)、(2)双方の側面を勘案し、個々の学校のみで検討を進めるのではなく、隣接する学校や同時期に建設された学校などを含めて総合的な視点で優先順位や工法などの内容を検討します。

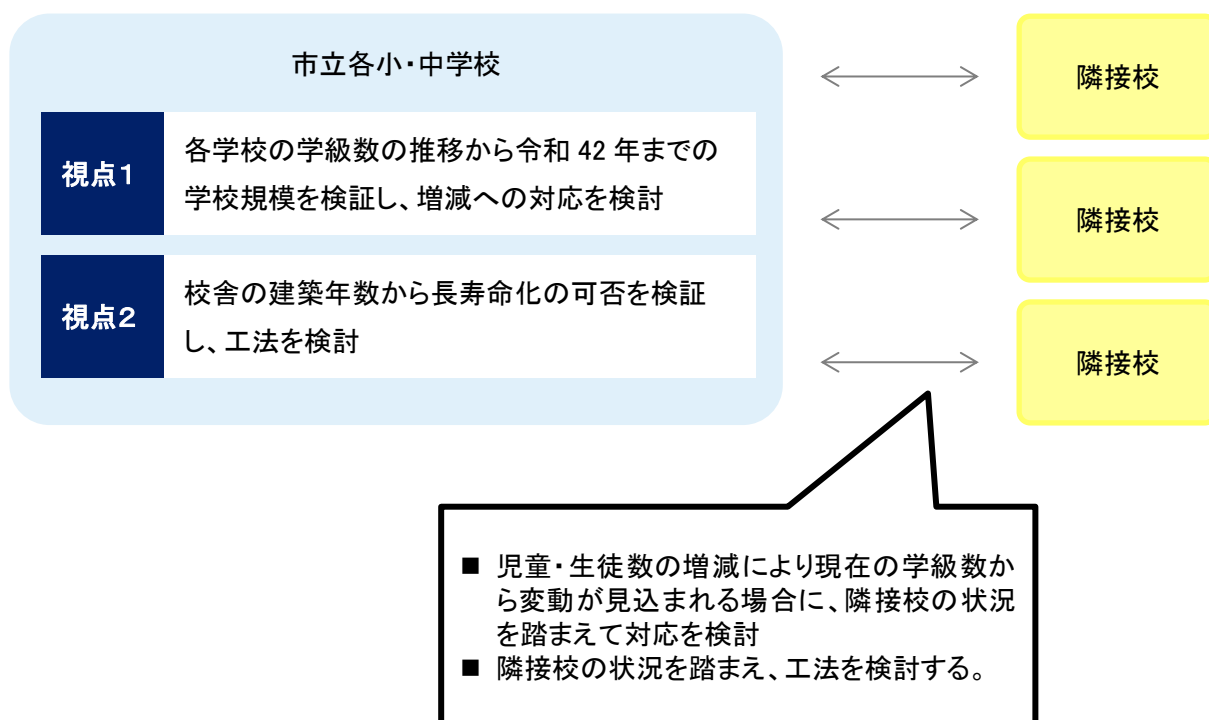


図9 一体的な検討のイメージ

## 4-2 学校施設の方向性の検討

「4-1 個別施設計画の検討」で示したように、学校規模が適正規模・適正配置の基準や現状から小規模又は大規模になると見込まれる学校については、子ども教育環境の改善を中心に据え、それぞれ以下の方法で規模・配置の適正化を図ります。

### (1) 学級数が基準よりも少ない学校

学校規模や隣接する学校間の距離、地域の実情を踏まえ、「統合」及び「通学区域の調整」を効果的に組み合わせ、最適な方法を検討します。

最適な学校適正配置を検討した結果、小規模校として存続する場合には、規模に応じた教育の充実方策や、施設更新に際して他の公共施設等との複合化を検討します。

### (2) 学級数が基準よりも多い学校

25学級以上の大規模校・過大規模校となる場合には、当該校の校地面積や学校施設等の物理的条件を考慮し、小規模校と同様の「通学区域の調整」を基本に、学校及び地域の実情に即した最適な方法を検討します。

最適な学校適正配置を検討した結果、大規模校として存続する場合には、教員の追加配置等による児童・生徒一人ひとりへ目の行き届く環境を整備するほか、施設更新に際しては他の公共施設等への転用を考慮した設計を検討します。

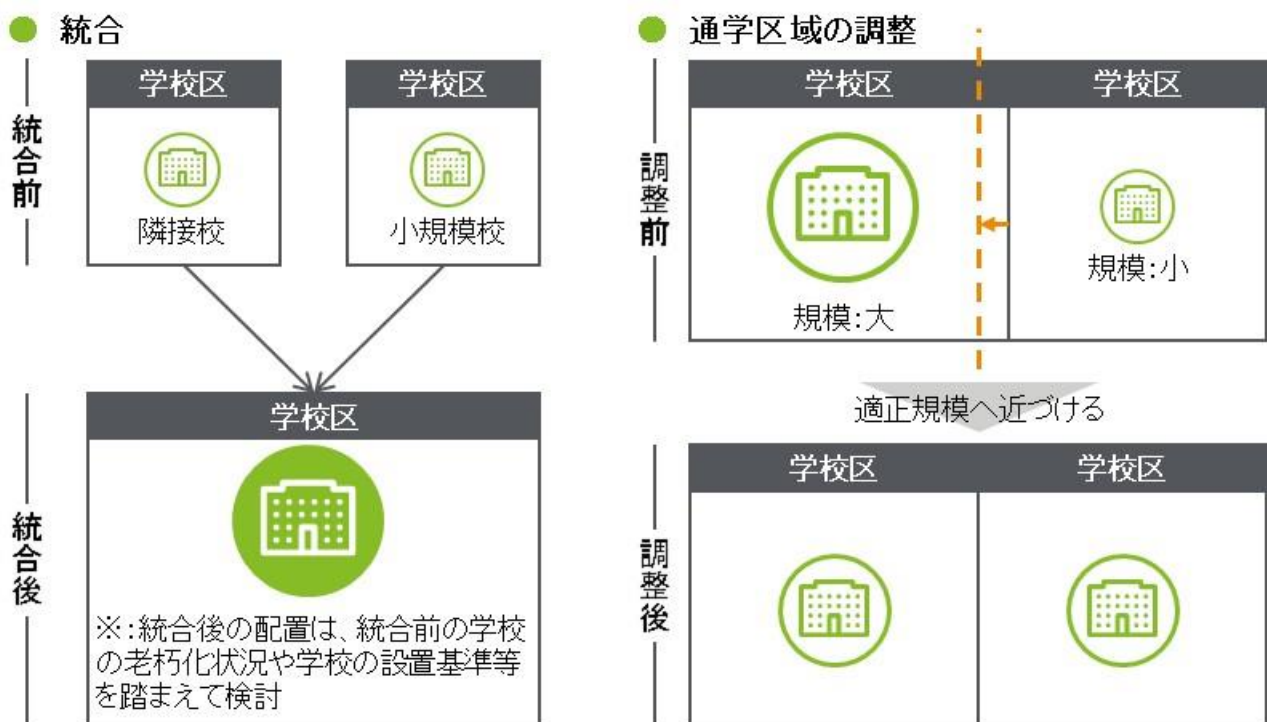


図 10 学校規模・配置の適正化の方法イメージ

### 4-3 適正規模・適正配置の取組推進時の留意点

文部科学省は、学校施設の適正規模・適正配置の取組を推進するに当たり、次のとおり留意点を示しています。

項目	概要
基本的な考え方 （保護者・地域住民との連携による検討）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は、地域住民から教育に加えて防災、保育、地域の交流の場など様々な機能を有する施設と見られている。</li> <li>・子どもに求められる資質や能力の育成には、多様な人々と関わり、経験を重ねていく必要があり、また、多様化・複雑化するニーズに対して学校や行政のみで対応することは困難であることから、学校教育においては保護者・地域住民等の支えが必要である。</li> <li>・近年の教育改革により学校現場の裁量が拡大していく中で、保護者・地域住民等が学校運営に関わっていくことの重要性が増してきている。</li> <li>・学校統合や他の公共施設等との複合化の適否を検討する上では、保護者・地域住民等の声を重視しつつ、教育上の課題や将来ビジョンを共有し、十分な理解や協力を得ながら進めることが大切である。</li> </ul>
学校施設の複合化の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の公共施設等を併設している特徴を生かし、他の公共施設等が所有する施設機能を共有し、学校教育への利活用が可能な施設計画とすることが重要である。</li> <li>・児童・生徒と幼児や高齢者など多様な世代との交流が可能な施設計画とすることが重要である。</li> <li>・多様な人々が集まるという複合施設としての特徴を生かし、学校の教育活動等を支える人材を活用することも併せて検討することが重要である。</li> </ul>
課題の可視化と共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般に、地域住民は小規模校の教育上の課題や学校規模の適正化による教育条件の改善をイメージすることが困難である。</li> <li>・他の公共施設等との複合化においては、児童・生徒や地域住民が安心して利用できる安全性の確保、互いの施設の活動に支障を来さない配置や動線、防音性の確保、利用時間や利用方法のルールなどの情報共有、光熱水費等の会計区分の明確化や一元化の可否等といった点を総合的に検討し、計画することが必要である。</li> <li>・各市町村においては、標準規模と比較した場合の制約や現状と統合後、複合化後を比べた場合の教育活動の可能性について、具体的なデータや資料の十分な情報提供が必要である。</li> </ul>

項目	概要
効果の見通しの共有等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の可視化と並行して、仮に学校を統合した場合の効果に関する見通しを先行事例等から研究し、関係者間で共有する必要がある。</li> <li>・統合や他の公共施設等との複合化を行うと判断した場合は、期待する効果を最大化するために必要な取組を十分検討し、保護者・地域住民等と共通理解を図りつつ、具体的な計画の立案を行うことが期待される。</li> </ul>
統合や複合化を行う場合の検討体制の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合や他の公共施設等との複合化の適否の判断は行政が一方的に進めるのではなく、課題やビジョンの共有、十分な対話など、地域と学校が両輪となって学校づくりのプロセスに取り組む必要があり、適切な検討体制を整備することが極めて重要となる。</li> </ul>

※参考：文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」（平成27年1月）、学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議「学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について」（平成27年11月）

本市においても、保護者・地域住民への適切な情報公開・連携により、基本方針の考え方や学校施設の課題・見通しを共有し、十分な意見交換・合意形成の上、取組を推進していきます。

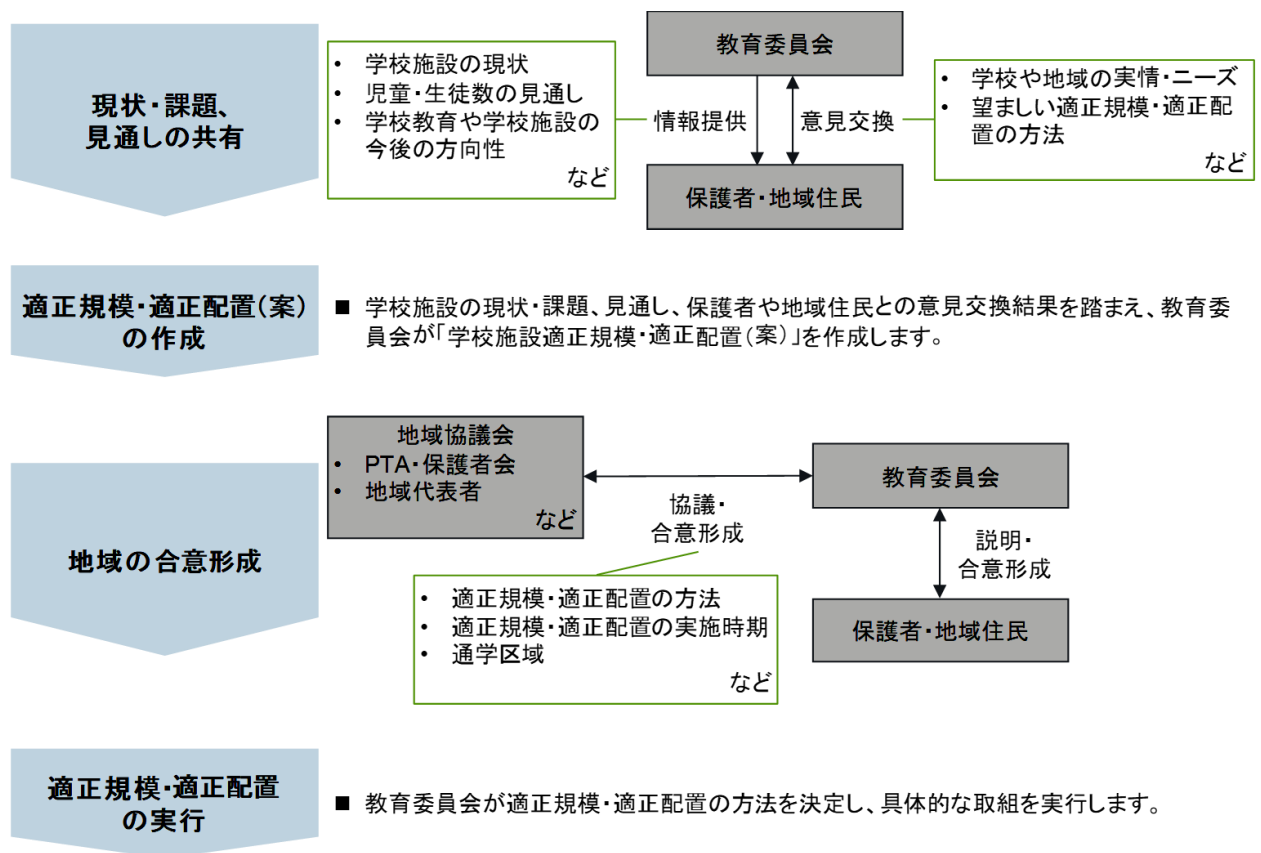


図11 適正規模・適正配置の取組推進のイメージ



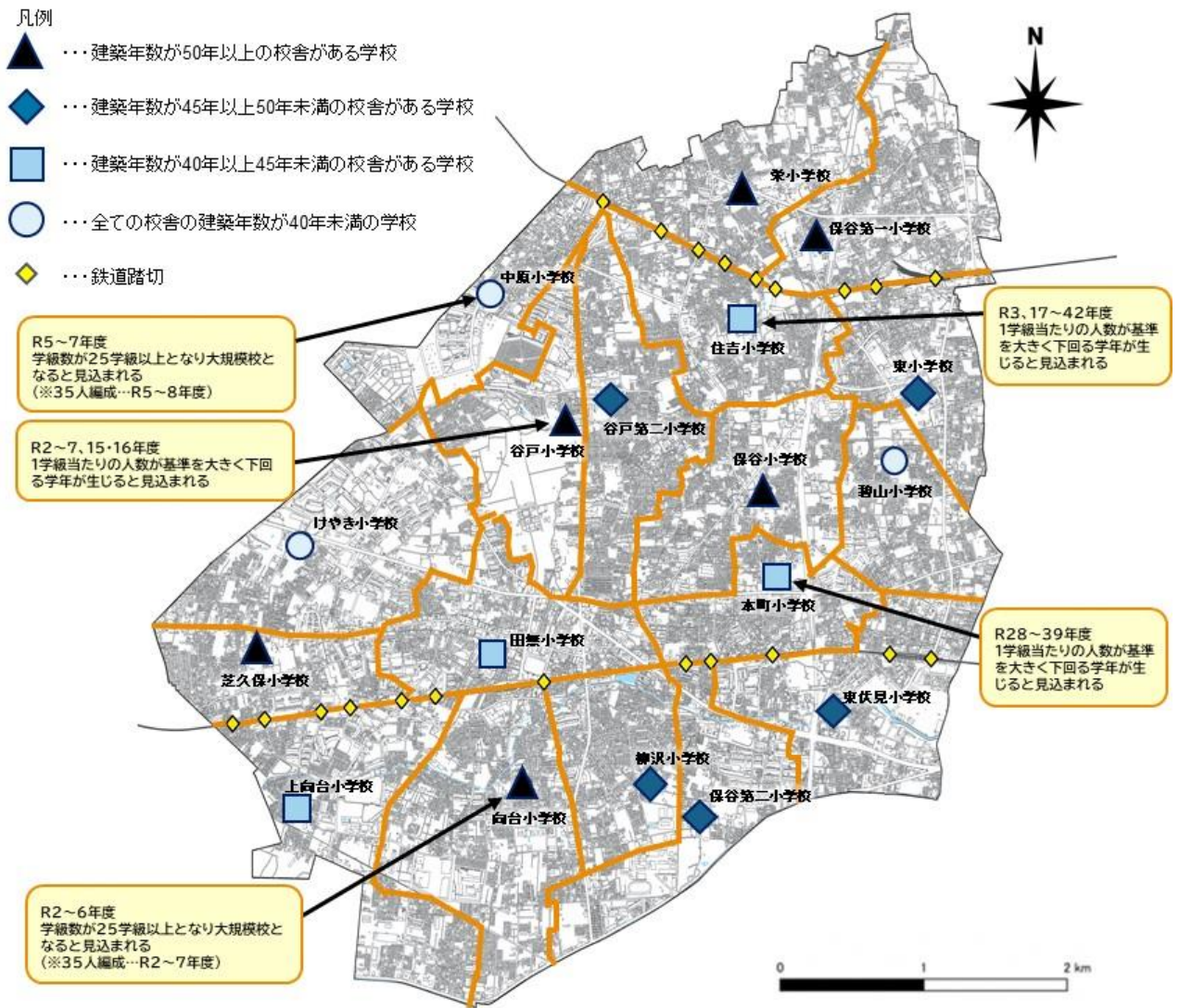
# 資料編

## (1) 学校施設配置の状況

### ①小学校

本市には18校の市立小学校があり、谷戸小学校と谷戸第二小学校、柳沢小学校と保谷第二小学校が近接配置となっており、保谷小学校と本町小学校、東小学校と碧山小学校についても比較的近い位置にあります。

通学区域は、向台町・新町地域（向台小学校、上向台小学校、保谷第二小学校）など一部の地域で見直しを実施していますが、旧田無市、旧保谷市時代にそれぞれ設定された通学区域をほぼ継続している状況です。また、幹線道路の開通による交通事情の変化が生じているほか、鉄道の線路を越える地域が一部存在しています。



小学校の配置状況

※ 内のコメントは学級数の推計（現行基準）の結果によるもの

## ②中学校

本市には9校の市立中学校があり、概ねバランスよく配置されています。

田無第二中学校とひばりが丘中学校の近接といびつな通学区域は、ひばりが丘中学校の施設老朽化に伴う移転建替に併せ、通学区域の見直しを実施し、令和3年度から新通学区域となり、課題解消されることとなっています。

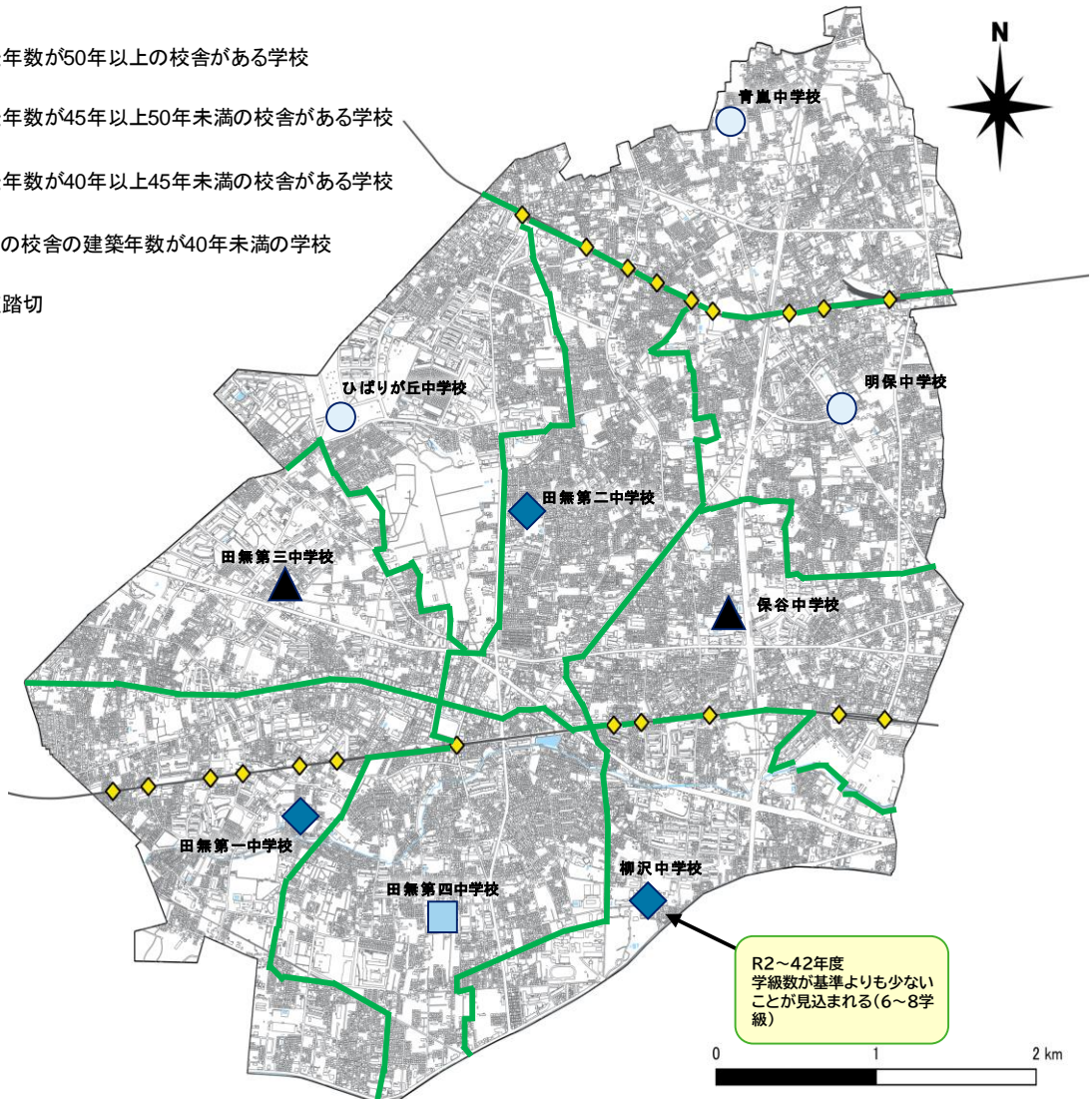
また、小学校と同様、幹線道路の開通による交通事情の変化が生じているほか、鉄道の線路を越える地域が一部存在している状況にあります。



現在の中学校の配置状況

凡例

- ▲ …… 建築年数が50年以上の校舎がある学校
- ◆ …… 建築年数が45年以上50年未満の校舎がある学校
- …… 建築年数が40年以上45年未満の校舎がある学校
- …… 全ての校舎の建築年数が40年未満の学校
- ◇ …… 鉄道路踏切



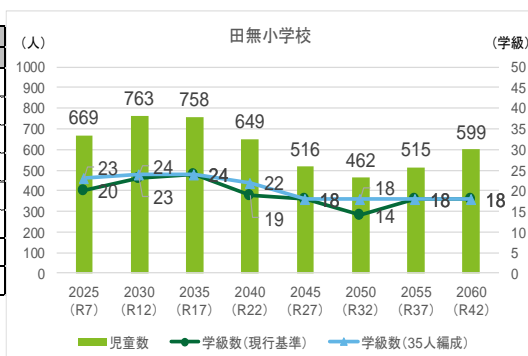
ひばりが丘中学校移転後(令和3年9月予定)の中学校の配置状況

## (2) 各学校の児童・生徒数、施設等に関する現状

### 田無小学校

#### ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2
1年生	92	110	91	88	117	94	110	101	135	112
2年生	98	92	111	92	87	110	95	105	100	132
3年生	98	99	92	111	91	81	108	94	106	100
4年生	92	97	101	93	109	88	79	108	91	109
5年生	97	91	98	100	95	105	88	83	107	94
6年生	96	100	89	99	96	93	107	89	82	107
合計	573	589	582	583	595	571	587	580	621	654
学級数	18	19	19	18	19	19	18	18	19	20



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成(想定)による推計値

【推計結果(現行基準)と現在の学級数との比較】

令和11～19年度…現在の学級数+3～4学級(最大24学級)

令和28～36年度…現在の学級数△3～6学級(最小14学級)

#### ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 15,722.70㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	5,301.00㎡	1978年	42年
2	校舎2	1,075.52㎡	2018年	2年
3	倉庫1	2.06㎡	2018年	2年
4	倉庫2	2.06㎡	2018年	2年
5	倉庫3	6.42㎡	2018年	2年
6	倉庫4	6.42㎡	2018年	2年
7	倉庫5	6.42㎡	2018年	2年
8	プール更衣室	162.00㎡	1989年	31年
9	体育倉庫	38.80㎡	2018年	2年
10	渡り廊下	30.97㎡	2018年	2年
11	体育館	934.00㎡	1970年	50年

【資料】：西東京市「施設カルテ2019」 ※経過年数は2020年末時点

#### ◆保有教室の活用状況

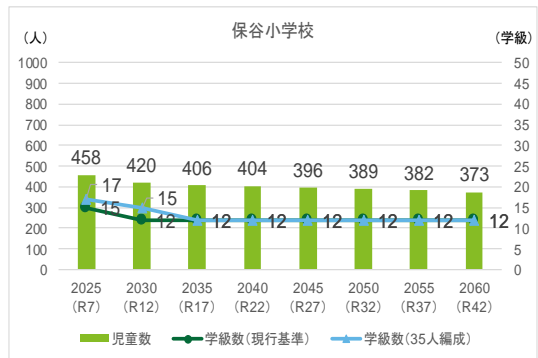
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	28 【6】	64	・通常授業の実施 ・特別支援学級の授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援学級の授業の実施 ・多目的室 ・陶芸室、算数教室 ・ランチルーム	無
理科室(準備室含む)	1	147	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
図工室(準備室含む)	2	103	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
音楽室(準備室含む)	2	112	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	148	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室	1	87	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(準備室含む)	1	162	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	64	・教育相談	・教育相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 保谷小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	51	51	73	73	97	64	95	81	82	62
2年生	60	50	51	74	79	95	65	98	82	82
3年生	63	60	47	52	94	74	96	66	99	82
4年生	47	63	55	48	75	93	75	100	70	100
5年生	51	46	62	56	74	73	93	77	102	69
6年生	82	53	45	61	83	74	75	93	78	103
合計	354	323	333	364	502	473	499	515	513	498
学級数	13	12	13	14	16	14	15	16	16	16



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」  
推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成（想定）による推計値

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和9～42年度…現在の学級数△2～4学級（令和10～42年度は12学級）

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 16,460.00㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	1,033.00㎡	1967年	53年
2	校舎2	256.00㎡	1968年	52年
3	校舎3	768.00㎡	1969年	51年
4	校舎4	3,703.00㎡	1978年	42年
5	倉庫	32.00㎡	1966年	54年
6	プール更衣室	43.00㎡	1973年	47年
7	プール機械室	26.00㎡	1977年	43年
8	体育館	814.00㎡	1972年	48年

※経過年数は2020年末時点

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」

## ◆保有教室の活用状況

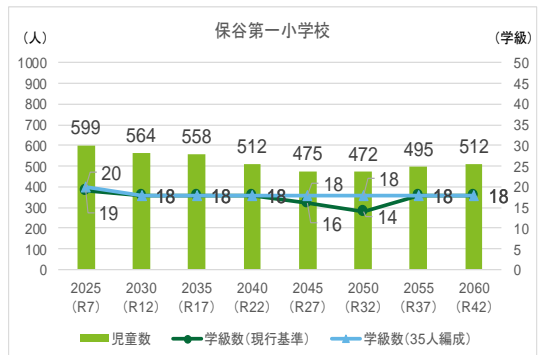
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	16 【7】	63	・通常授業の実施 ・特別指導学級の授業の実施	・通常授業の実施 ・スキップ教室 ・通級指導学級 ・特別支援教室 ・ランチルーム	無
理科室(準備室含む)	1	128	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	160	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	132	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
視聴覚室	1	96	・映像の上映を実施	・映像の上映を実施	
コンピューター室	1	126	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(準備室含む)	1	130	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	32	・教育相談	・教育相談	
図工室(準備室含む)	1	128	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 保谷第一小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	71	77	70	73	101	92	93	99	79	97
2年生	70	72	76	71	78	105	92	87	99	81
3年生	74	68	68	75	74	80	106	92	89	101
4年生	68	75	70	68	76	74	80	109	97	89
5年生	70	70	74	70	72	77	74	78	109	96
6年生	75	72	72	75	71	73	78	76	79	108
合計	428	434	430	432	472	501	523	541	552	572
学級数	12	14	13	14	14	14	15	16	17	18



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成(想定)による推計値

【推計結果(現行基準)と現在の学級数との比較】

令和28～33年度…現在の学級数△3～4学級

令和36年度以降は18学級で推移

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 11,767.00㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	1,851.00㎡	1967年	53年
2	校舎2	347.00㎡	1969年	51年
3	校舎3	1,719.00㎡	1978年	42年
4	校舎4	214.00㎡	1978年	42年
5	校舎5	401.00㎡	1978年	42年
6	校舎6	399.00㎡	1979年	41年
7	体育倉庫	33.00㎡	1970年	50年
8	倉庫	32.96㎡	1972年	48年
9	給食棟	364.00㎡	1967年	53年
10	給食倉庫	6.00㎡	1971年	49年
11	プール更衣室	70.00㎡	1979年	41年
12	灯油庫	11.00㎡	1979年	41年
13	体育館1	480.00㎡	1966年	54年
14	体育館2	8.00㎡	1975年	45年
15	体育館3	140.00㎡	1976年	44年

【資料】：西東京市「施設カルテ2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

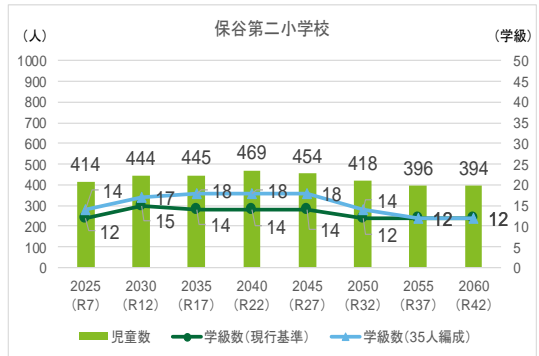
教室名	教室数	平均面積(㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	18 【5】	64	・通常授業の実施 ・特別指導学級の授業の実施	・通常授業の実施 ・通級指導学級 ・多目的ホール ・算数教室	無
理科室(準備室含む)	1	132	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	163	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室(準備室含む)	1	153	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	132	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室(準備室含む)	1	143	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(準備室含む)	1	143	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	39	・教育相談	・教育相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 保谷第二小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2
1年生	75	60	89	71	76	83	69	75	78	55
2年生	79	78	66	86	70	76	81	72	78	79
3年生	83	77	77	66	87	70	76	81	72	77
4年生	82	87	84	78	66	87	69	77	82	73
5年生	106	80	87	82	78	65	90	72	77	82
6年生	82	107	82	86	85	79	63	89	72	74
合計	507	489	485	469	462	460	448	466	459	440
学級数	18	15	16	16	15	15	14	14	15	14



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」  
推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成（想定）による推計値

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】  
令和2～42年度…12～15学級の間で推移

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 12,300.00㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	1,274.00㎡	1975年	45年
2	校舎2	3,878.00㎡	1975年	45年
3	体育倉庫	37.00㎡	1976年	44年
4	倉庫1	10.00㎡	1971年	49年
5	倉庫2	9.00㎡	1975年	45年
6	プール更衣室	43.00㎡	1973年	47年
7	プール機械室	25.00㎡	1973年	47年
8	体育館	800.00㎡	1976年	44年

※経過年数は2020年末時点

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」

## ◆保有教室の活用状況

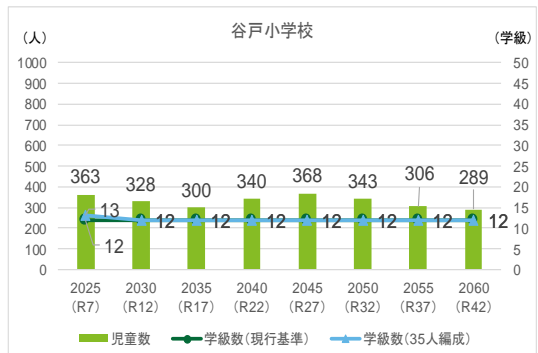
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	14 [8]	60	・通常授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援教室 ・児童会室、算数教室、学習室 ・郷土資料室 ・外国語教室 ・プレイルーム ・ランチルーム	無
理科室(準備室含む)	1	132	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
生活科室	1	60	・身近な人々や自然との関わり方を学ぶ授業	・身近な人々や自然との関わり方を学ぶ授業	
音楽室	1	166	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室(準備室含む)	2	125	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	129	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室	1	114	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(準備室含む)	1	137	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	22	・教育相談	・教育相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 谷戸小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	69	63	75	58	63	64	44	55	46	43
2年生	73	69	64	77	57	63	60	42	57	49
3年生	82	71	71	65	76	59	61	60	41	53
4年生	87	82	73	72	63	79	59	61	66	42
5年生	92	85	86	72	72	62	76	59	60	66
6年生	90	92	87	86	72	74	62	76	62	59
合計	493	462	456	430	403	401	362	353	332	312
学級数	16	15	15	14	12	12	12	12	12	12



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成(想定)による推計値

【推計結果(現行基準)と現在の学級数との比較】

令和2～42年度…12～13学級の間で推移

令和2～7年度、15・16年度は1学級当たりの人数が基準を大きく下回る学年が生じる。

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 13,986.91㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	1,524.00㎡	1970年	50年
2	校舎2	1,346.00㎡	1979年	41年
3	校舎3	1,295.00㎡	1979年	41年
4	校舎4	31.00㎡	1979年	41年
5	校舎5	84.00㎡	1979年	41年
6	給食棟	413.00㎡	1979年	41年
7	図書室	132.00㎡	2008年	12年
8	倉庫1	39.00㎡	1971年	49年
9	倉庫2	20.00㎡	1995年	25年
10	プール更衣室・便所	62.00㎡	1977年	43年
11	プール機械室	11.00㎡	1995年	25年
12	機械室	3.00㎡	1979年	41年
13	体育館	909.00㎡	1973年	47年

【資料】：西東京市「施設カルテ2019」

※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

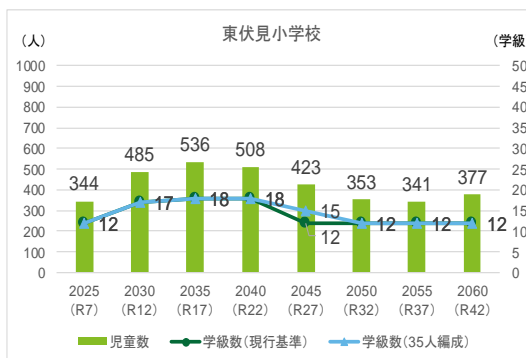
教室名	教室数	平均面積(㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	12 【8】	61	・通常授業の実施 ・特別指導学級の授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援教室 ・通級指導学級 ・少人数教室 ・ランチルーム	無
理科室(準備室含む)	1	144	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	144	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室(準備室含む)	1	144	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	144	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室	1	96	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室	1	132	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	18	・教育相談	・教育相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 東伏見小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	86	61	58	51	68	59	71	61	64	58
2年生	78	83	61	55	53	69	58	73	61	68
3年生	60	80	81	64	54	54	68	57	72	61
4年生	69	57	77	86	65	54	50	67	57	73
5年生	77	68	59	74	83	65	53	51	68	56
6年生	85	76	65	63	73	83	67	53	52	68
合計	455	425	401	393	396	384	367	362	374	384
学級数	15	13	12	13	13	13	13	13	12	12



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成（想定）による推計値

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和11～24年度…現在の学級数+4～6学級（最大18学級）

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 15,551.88㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	1,097.00㎡	1971年	49年
2	校舎2	1,379.00㎡	1981年	39年
3	校舎3	3,707.00㎡	1981年	39年
4	体育倉庫	35.00㎡	1981年	39年
5	プール更衣室	48.80㎡	1974年	46年
6	プール機械室	18.00㎡	1978年	42年
7	体育館	798.00㎡	1970年	50年

【資料】：西東京市「施設カルテ2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	12 【13】	61	・通常授業の実施 ・特別指導学級の授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援教室、通級指導学級 ・学習室、郷土資料室、多目的室 ・少人数教室 ・学年室 ・ランチルーム、ミシン室	無
理科室	1	151	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
生活科室	1	61	・身近な人々や自然との関わり方を学ぶ授業	・身近な人々や自然との関わり方を学ぶ授業	
音楽室(準備室含む)	2	139	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室	1	151	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	129	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室	1	97	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室	1	120	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	28	・教育相談	・教育相談	

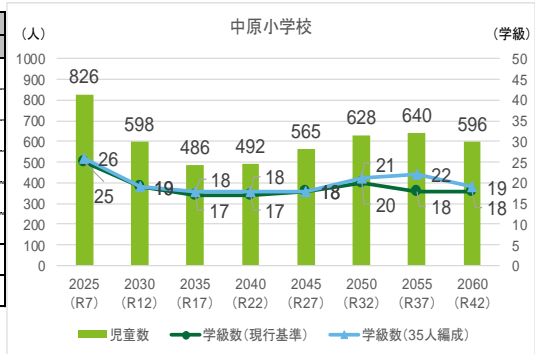
【資料】：西東京市教育委員会資料



# 中原小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2
1年生	120	121	120	133	120	106	126	123	131	142
2年生	155	119	122	119	133	122	106	129	123	128
3年生	139	154	118	122	119	135	127	112	136	126
4年生	123	136	150	116	121	113	133	127	114	135
5年生	127	120	138	153	118	120	118	135	128	117
6年生	94	130	121	138	153	120	121	121	136	128
合計	758	780	769	781	764	716	731	747	768	776
学級数	23	23	23	23	22	21	22	23	23	24



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」  
推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成（想定）による推計値

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和11～16年度…現在の学級数△4～6学級

令和17～22年度…現在の学級数△7～9学級

令和23～42年度…現在の学級数△4～6学級（18～20学級で推移）

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 13,632.09㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎	10,676.70㎡	2020年	0年
2	駐輪場	18.20㎡	2020年	0年
3	ポンプ室	8.00㎡	2020年	0年
4	屋外倉庫棟	49.95㎡	建設中	0年
5	便所	18.00㎡	建設中	0年

※経過年数は2020年末時点

※：屋外倉庫等棟及び便所については2021年3月完成予定

【資料】：西東京市教育委員会資料

## ◆保有教室の活用状況

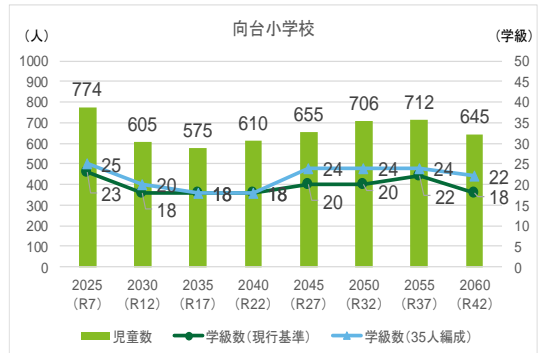
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	31 【10】	64	・通常授業の実施 ・特別支援学級の授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援学級の授業の実施 ・多目的室 ・算数教室 ・プレー室 ・ランチルーム	—
理科室(準備室含む)	1	143	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	135	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室(準備室含む)	1	139	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	154	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室	1	93	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
相談室	1	32	・教育相談	・教育相談	
図書室	1	233	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 向台小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	123	119	130	148	162	161	156	178	132	142
2年生	111	129	118	132	153	159	158	155	176	130
3年生	133	113	126	119	129	153	157	156	157	175
4年生	91	135	115	131	118	130	152	159	157	155
5年生	126	92	135	118	138	121	129	155	158	159
6年生	120	125	92	134	121	140	121	128	158	153
合計	704	713	716	782	821	864	873	931	938	914
学級数	21	22	22	23	25	25	26	27	25	26



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成（想定）による推計値

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和7～9年度…現在の学級数△3～5学級

令和10～32年度…現在の学級数△6～8学級（18～20学級で推移）

令和33～42年度…現在の学級数△2～8学級

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 13,487.00㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	1,575.00㎡	1970年	50年
2	校舎2	135.00㎡	1970年	50年
3	校舎3	3,079.00㎡	1980年	40年
4	校舎4	1,143.00㎡	2015年	5年
5	体育倉庫	25.00㎡	1997年	23年
6	倉庫1・2	21.06㎡	2015年	5年
7	物置1・2	9.14㎡	2015年	5年
8	プール更衣室・便所	50.00㎡	1995年	25年
9	プール機械室	56.00㎡	1995年	25年
10	体育館	817.00㎡	1973年	47年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

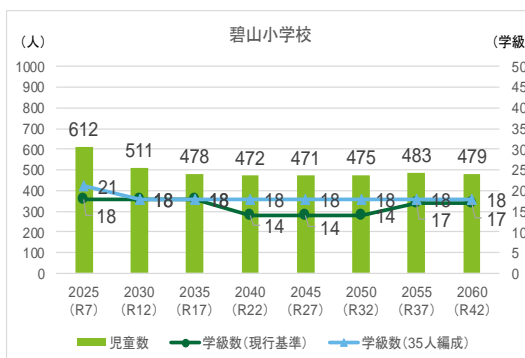
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	26 【4】	63	・通常授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援教室(日本語教室) ・算数教室 ・ランチルーム	無
理科室(準備室含む)	1	180	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	135	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室(準備室含む)	1	135	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	135	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室	1	126	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室	1	105	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	19	・教育相談	・教育相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 碧山小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	91	109	81	83	104	95	87	103	79	92
2年生	120	86	105	83	83	103	99	91	101	79
3年生	74	125	84	106	80	85	105	95	90	101
4年生	107	71	124	83	107	81	88	107	96	93
5年生	77	109	69	121	83	111	84	88	108	96
6年生	80	77	110	69	123	84	113	85	85	111
合計	549	577	573	545	580	559	576	569	559	572
学級数	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」  
推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成（想定）による推計値

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和 20～34 年度…現在の学級数△3～4 学級（14～15 学級で推移）

令和 35～42 年度…現在とほぼ同様の学級数（17～18 学級で推移）

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 13,404.00㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	1,197.00㎡	1994年	26年
2	校舎2	2,625.00㎡	1994年	26年
3	校舎3	1,942.00㎡	1994年	26年
4	渡廊下	18.00㎡	1994年	26年
5	陶芸小屋	15.00㎡	1994年	26年
6	図書室	169.00㎡	2006年	14年
7	図書室渡廊下	62.00㎡	2006年	14年
8	体育倉庫	32.00㎡	1995年	25年
9	体育館1	480.00㎡	1967年	53年
10	体育館2	8.00㎡	1975年	45年
11	体育館3	159.00㎡	1978年	42年
12	体育館4	38.00㎡	1978年	42年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

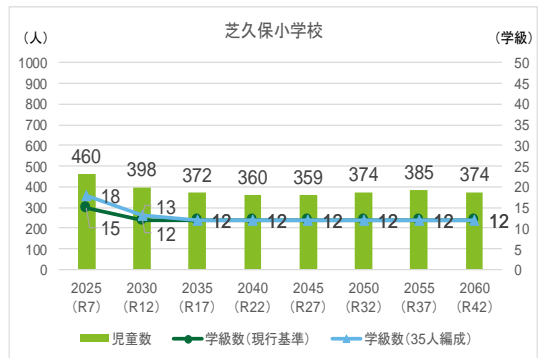
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	18 [3]	60	・通常授業の実施	・通常授業の実施 ・多目的室 ・少人数教室 ・ランチルーム	無
理科室(準備室含む)	1	130	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	165	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室(準備室含む)	1	167	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	133	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室	1	108	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室	1	177	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	30	・教育相談	・教育相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 芝久保小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	59	72	82	69	76	73	64	79	65	57
2年生	65	59	70	77	68	76	73	62	80	66
3年生	64	62	60	72	77	69	75	73	65	81
4年生	73	65	63	55	73	77	69	73	75	69
5年生	56	73	64	64	53	74	79	71	77	76
6年生	54	53	72	64	65	53	74	78	73	77
合計	371	384	411	401	412	422	434	436	435	426
学級数	12	13	13	13	13	14	13	13	13	13



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」  
推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成（想定）による推計値

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和9～42年度…現在の学級数△1学級（12学級で推移）

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 15,123.00㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	2,133.00㎡	1968年	52年
2	校舎2	2,934.00㎡	1969年	51年
3	給食棟	256.00㎡	1969年	51年
4	倉庫	19.00㎡	1969年	51年
5	体育倉庫	25.00㎡	1997年	23年
6	プール更衣室・便所	62.00㎡	1977年	43年
7	プール機械室	20.00㎡	1997年	23年
8	体育館	822.00㎡	1972年	48年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

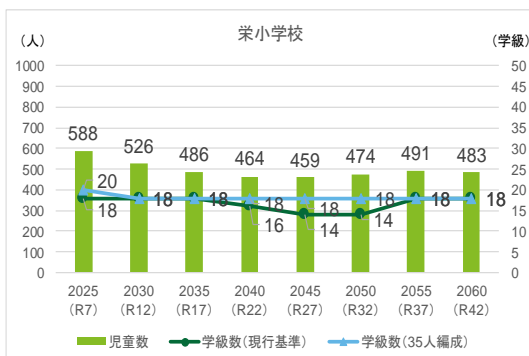
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	13 【6】	63	・通常授業の実施 ・特別指導学級の授業の実施	・通常授業の実施 ・少人数教室 ・通級指導学級 ・多目的室、児童会室 ・ランチルーム	無
理科室(準備室含む)	1	166	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	192	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室(準備室含む)	1	153	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	153	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室	1	127	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(準備室含む)	1	159	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	64	・教育相談	・教育相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 栄小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	85	87	83	101	81	111	99	98	98	111
2年生	69	91	92	82	100	82	109	104	98	98
3年生	101	67	94	92	81	99	84	115	103	94
4年生	87	104	67	93	90	85	101	88	114	104
5年生	94	88	110	65	93	87	88	103	91	113
6年生	71	97	89	109	63	93	89	90	104	93
合計	507	534	535	542	508	557	570	598	608	613
学級数	16	17	17	17	17	19	19	18	18	19



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成（想定）による推計値

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和 18～33 年度…現在の学級数△3～5 学級（14～16 学級で推移）

令和 34～42 年度…現在の学級数△1 学級（18 学級で推移）

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 10,180.00㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	1,996.00㎡	1970年	50年
2	校舎2	1,628.00㎡	1970年	50年
3	校舎3	713.00㎡	1972年	48年
4	校舎4	12.00㎡	1990年	30年
5	給食室	30.00㎡	1997年	23年
6	体育倉庫	33.00㎡	1970年	50年
7	物置	33.00㎡	1970年	50年
8	プール更衣室	78.00㎡	1971年	49年
9	灯油庫	9.00㎡	1971年	49年
10	体育館	803.00㎡	1974年	46年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

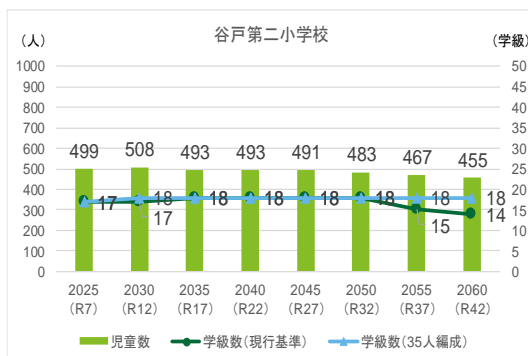
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実績	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	19 【3】	61	・通常授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援教室 ・算数教室 ・ランチルーム	無
理科室(準備室含む)	1	120	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	168	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室(準備室含む)	1	137	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室	2	81	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室	1	76	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室	1	168	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	64	・教育相談	・教育相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 谷戸第二小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	61	96	87	88	95	93	114	73	88	81
2年生	76	63	94	84	91	97	91	113	74	91
3年生	91	77	69	95	86	93	102	86	115	81
4年生	74	88	71	66	96	87	98	104	85	113
5年生	88	74	87	69	75	95	89	96	105	85
6年生	97	94	79	86	69	76	98	90	96	107
合計	487	492	487	488	512	541	592	562	563	558
学級数	15	15	15	16	16	17	19	19	18	17



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」  
推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成（想定）による推計値

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和37～42年度…現在の学級数△2～3学級（14～15学級で推移）

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 13,587.00㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1・給食室	2,147.00㎡	1972年	48年
2	校舎2	126.00㎡	1976年	44年
3	校舎3	2,328.00㎡	1972年	48年
4	倉庫1	35.00㎡	1972年	48年
5	倉庫2	40.00㎡	1982年	38年
6	倉庫3	36.00㎡	1982年	38年
7	プール更衣室	74.00㎡	1972年	48年
8	機械室	4.00㎡	1982年	38年
9	体育館	786.00㎡	1972年	48年

【資料】：西東京市「施設カルテ2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

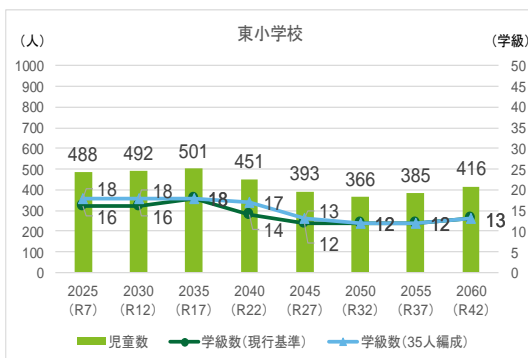
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	17 【3】	63	・通常授業の実施	・通常授業の実施 ・算数教室 ・多目的室 ・ランチルーム	無
理科室(準備室含む)	1	143	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	149	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室(準備室含む)	1	149	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	134	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室	1	110	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(準備室含む)	1	166	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	31	・教育相談	・教育相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 東小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2
1年生	59	52	46	64	55	71	86	57	71	87
2年生	31	60	51	48	62	56	73	90	56	72
3年生	49	33	56	54	47	61	57	73	91	57
4年生	68	49	32	56	57	47	61	55	76	91
5年生	44	71	50	32	55	61	47	59	56	74
6年生	50	46	69	51	32	56	61	46	59	53
合計	301	311	304	305	308	352	385	380	409	434
学級数	11	11	11	11	11	13	14	13	14	15



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成（想定）による推計値

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和7～21年度…現在の学級数+1～3学級（16～18学級で推移）

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 10,777.44㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	3,177.00㎡	1974年	46年
2	校舎2	932.00㎡	1974年	46年
3	倉庫	15.00㎡	1974年	46年
4	物置	44.00㎡	1975年	45年
5	体育倉庫	42.00㎡	1975年	45年
6	体育館	757.00㎡	1975年	45年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」

※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

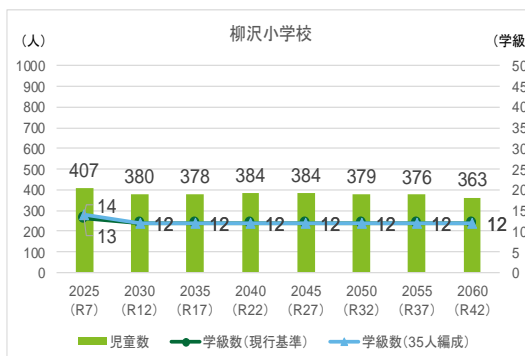
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	20 【1】	60	・通常授業の実施 ・特別支援学級の授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援学級の授業の実施 ・算数教室	無
理科室(準備室含む)	1	126	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	132	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室(準備室含む)	2	141	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	125	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室	1	122	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(準備室含む)	1	119	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	30	・教育相談	・教育相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 柳沢小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	66	64	64	72	86	80	69	78	78	79
2年生	67	62	63	65	74	88	78	70	75	78
3年生	57	68	66	61	64	73	92	78	72	76
4年生	64	59	67	65	61	65	71	89	75	73
5年生	73	67	55	68	64	60	63	72	86	76
6年生	76	75	69	54	67	66	57	65	73	89
合計	403	395	384	385	416	432	430	452	459	471
学級数	12	12	12	13	13	14	14	14	15	15



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成（想定）による推計値

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和5～42年度…現在の学級数△2～3学級（12～13学級で推移）

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 13,005.60㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	2,604.00㎡	1975年	45年
2	校舎2	1,565.00㎡	1975年	45年
3	校舎3	916.00㎡	1975年	45年
4	倉庫	44.00㎡	1975年	45年
5	プール機械室	13.00㎡	1975年	45年
6	体育館	768.00㎡	1976年	44年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」

※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	20 【3】	64	・通常授業の実施 ・特別支援学級の授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援学級の授業の実施 ・特別支援教室 ・少人数教室 ・ランチルーム	無
理科室(準備室含む)	1	148	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	148	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室(準備室含む)	1	148	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	148	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室	1	70	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(準備室含む)	1	148	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	36	・教育相談	・教育相談	

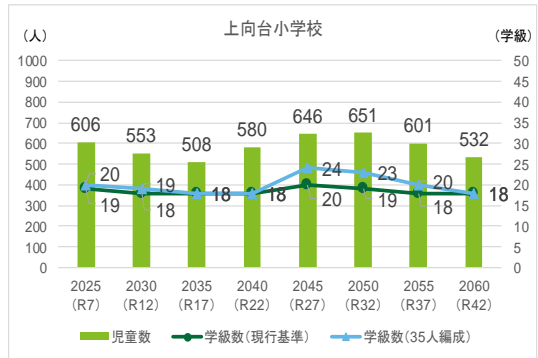
【資料】：西東京市教育委員会資料



# 上向台小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	143	109	146	148	118	135	152	126	112	119
2年生	141	141	109	146	144	119	133	151	127	107
3年生	150	144	140	110	150	146	117	134	146	133
4年生	141	147	146	143	109	147	149	116	132	143
5年生	137	139	148	147	143	110	147	146	119	131
6年生	150	139	140	148	144	144	111	147	143	117
合計	862	819	829	842	808	801	809	820	779	750
学級数	24	25	25	25	24	23	23	24	23	23



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」  
推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成（想定）による推計値

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和6～23、32～42年度…現在の学級数△4～5学級（18～19学級で推移）

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 14,410.00㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	4,158.00㎡	1978年	42年
2	校舎2	1,248.00㎡	1978年	42年
3	校舎3	818.12㎡	2009年	11年
4	給食棟	65.24㎡	2009年	11年
5	体育館渡り廊下	50.00㎡	1979年	41年
6	渡り廊下	88.80㎡	2009年	11年
7	物置	4.87㎡	2009年	11年
8	倉庫	12.89㎡	2009年	11年
9	図工室渡り廊下	35.42㎡	2009年	11年
10	ポンプ室	13.00㎡	1978年	42年
11	体育館1	931.00㎡	1979年	41年
12	体育館2	42.00㎡	1979年	41年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

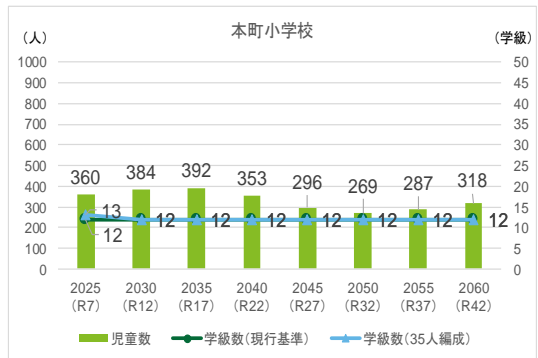
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	23 [5]	64	・通常授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援教室 ・算数教室 ・英語ルーム ・ランチルーム	無
理科室(準備室含む)	1	166	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	166	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室(準備室含む)	1	162	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	155	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室	1	108	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室	1	162	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	23	・教育相談	・教育相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 本町小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	64	44	40	47	49	47	55	53	60	79
2年生	66	60	43	43	46	48	46	57	53	61
3年生	59	62	58	48	47	44	49	47	54	49
4年生	48	58	54	60	48	47	44	52	51	56
5年生	69	49	60	59	62	47	48	47	52	52
6年生	42	69	50	62	61	61	46	49	47	54
合計	348	342	305	319	313	294	288	305	317	351
学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」  
推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成（想定）による推計値

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和3～42年度…現在の学級数と同様（12学級で推移）

令和28～39年度は1学級当たりの人数が基準を大きく下回る学年が生じる。

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 9,691.11㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎	4,733.00㎡	1979年	41年
2	体育器具庫	32.00㎡	1979年	41年
3	物置	32.00㎡	1979年	41年
4	ポンプ室	9.00㎡	1979年	41年
5	体育館	804.00㎡	1979年	41年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

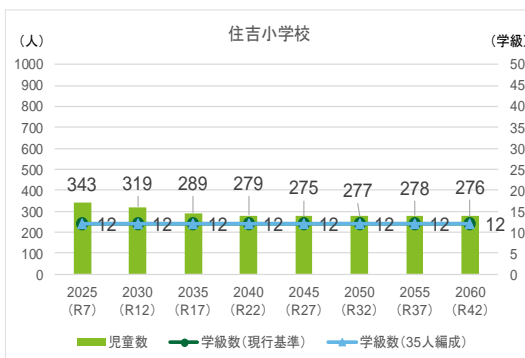
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	13 【4】	60	・通常授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援教室 ・算数教室 ・郷土資料室 ・ランチルーム	無
理科室(準備室含む)	1	144	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	146	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室(準備室含む)	1	146	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	144	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室	1	108	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室	1	110	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	19	・教育相談	・教育相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 住吉小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	48	39	50	65	54	56	60	63	59	61
2年生	59	50	38	55	70	52	57	62	65	60
3年生	45	58	50	38	59	70	52	58	65	64
4年生	62	46	58	50	49	54	68	54	60	65
5年生	47	58	45	58	61	49	54	70	55	62
6年生	38	47	58	45	70	63	51	54	73	57
合計	299	298	299	311	363	344	342	361	377	369
学級数	11	12	12	11	12	12	12	12	12	12



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」  
推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成（想定）による推計値

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和2～42年度…現在の学級数と同様（12学級で推移）

令和3、17～42年度は1学級当たりの人数が基準を大きく下回る学年が生じる。

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 11,374.00㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	2,348.00㎡	1978年	42年
2	校舎2	2,208.00㎡	1978年	42年
3	校舎3	930.00㎡	1980年	40年
4	給食棟	200.00㎡	1984年	36年
5	倉庫	29.00㎡	1978年	42年
6	体育倉庫	33.00㎡	1978年	42年
7	ポンプ室	5.00㎡	1978年	42年
8	体育館	840.00㎡	1979年	41年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

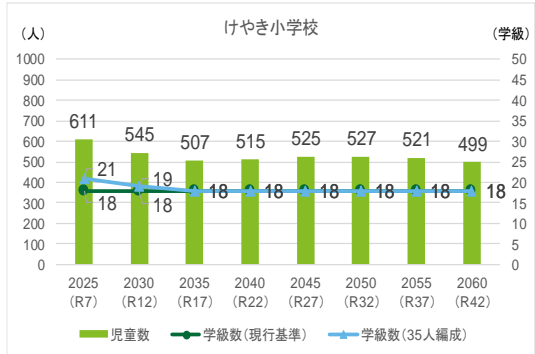
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	12 【7】	60	・通常授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援教室、少人数教室 ・多目的ホール、児童会室 ・記念資料室、英語教室 ・ランチルーム	無
理科室(準備室含む)	1	139	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	138	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室(準備室含む)	1	139	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	139	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室(準備室含む)	1	138	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(準備室含む)	1	138	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	37	・教育相談	・教育相談	
生活科室	1	63	・身近な人々や自然との関わり方を学ぶ授業	・身近な人々や自然との関わり方を学ぶ授業	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# けやき小学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	84	103	98	92	92	99	122	123	98	111
2年生	103	86	101	93	94	92	98	122	120	98
3年生	103	105	89	100	91	93	90	101	125	121
4年生	111	100	109	89	100	95	94	87	105	125
5年生	104	110	98	109	87	100	96	94	83	105
6年生	118	103	112	96	110	90	98	97	93	84
合計	623	607	607	579	574	569	598	624	624	644
学級数	18	18	18	18	18	18	19	20	20	21



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

※現行基準及び35人編成(想定)による推計値

【推計結果(現行基準)と現在の学級数との比較】

令和6~42年度…現在の学級数△3~4学級(17~18学級で推移)

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 17,943.00㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	4,145.00㎡	2003年	17年
2	体育館	1,112.00㎡	2003年	17年
3	校舎2	8,350.00㎡	2003年	17年
4	倉庫	66.00㎡	2003年	17年
5	ゴミ置場	43.25㎡	2003年	17年
6	ゴミ置場	11.00㎡	2003年	17年
7	陶芸小屋	30.18㎡	2003年	17年
8	便所	32.00㎡	2003年	17年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

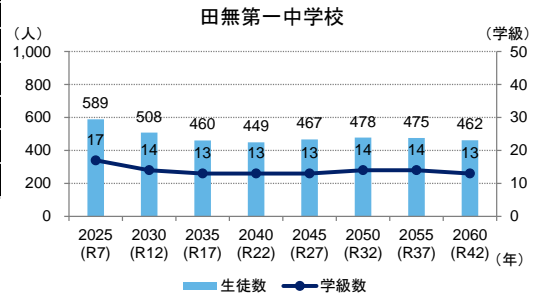
教室名	教室数	平均面積(㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室【特別活動教室】	21【6】	64	・通常授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援教室 ・算数教室 ・少人数教室 ・ランチルーム	無
理科室(準備室含む)	1	203	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	2	121	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
図工室(準備室含む)	2	124	・工作を伴う図工の授業	・工作を伴う図工の授業	
家庭科室(準備室含む)	1	291	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室(準備室含む)	1	107	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室	1	239	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	19	・教育相談	・教育相談	
生活科室	1	67	・身近な人々や自然との関わり方を学ぶ授業	・身近な人々や自然との関わり方を学ぶ授業	
視聴覚室	1	374	・映像の上映を実施	・映像の上映を実施	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 田無第一中学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	162	214	173	209	190	206	200	186	209	193
2年生	191	159	216	173	208	191	205	198	189	216
3年生	162	194	162	217	172	209	194	204	203	191
合計	515	567	551	599	570	606	599	588	601	600
学級数	15	15	16	17	17	17	17	17	17	17



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

※現行基準による推計値

令和 12、16～34、36～42年度…現在の学級数△3～4学級（13～14学級で推移）

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 13,170.38㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	2,294.00㎡	1973年	47年
2	校舎2	2,107.00㎡	1973年	47年
3	校舎3	1,615.00㎡	1973年	47年
4	渡り廊下1	14.00㎡	1974年	46年
5	渡り廊下2	29.00㎡	1974年	46年
6	倉庫1	21.00㎡	2012年	8年
7	倉庫2	4.00㎡	2012年	8年
8	給食用エレベータ棟	46.00㎡	2012年	8年
9	プール附属室	62.00㎡	1973年	47年
10	便所	6.00㎡	1987年	33年
11	体育館1	1,044.00㎡	1974年	46年
12	体育館2	126.00㎡	1974年	46年
13	プール薬品庫	4.00㎡	1994年	26年

※経過年数は2020年末時点

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」

## ◆保有教室の活用状況

教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	22 【2】	64	・通常授業の実施 ・特別支援学級の授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援学級の授業の実施 ・生徒会室 ・学習室	無
理科室(準備室含む)	2	149	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	2	142	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
美術室(準備室含む)	3	99	・図画工作を行う美術の授業	・図画工作を行う美術の授業	
技術室(準備室含む)	2	131	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	
家庭科室(準備室含む)	3	102	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
視聴覚室	1	66	・映像の上映を実施	・映像の上映を実施	
コンピューター室(準備室含む)	1	129	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(資料室含む)	1	220	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	2	28	・教育相談、進路相談	・教育相談、進路相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 保谷中学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

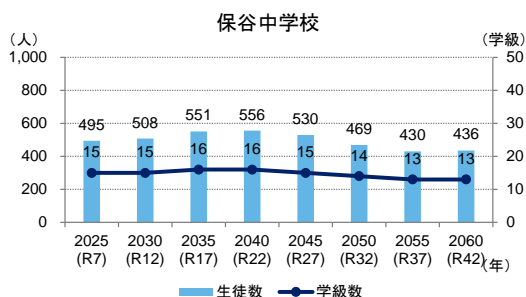
年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	166	168	174	163	166	174	169	174	164	165
2年生	192	163	169	177	164	165	173	169	175	165
3年生	184	189	163	169	177	162	164	173	171	177
合計	542	520	506	509	507	501	506	516	510	507
学級数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15

【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和2～42年度…13～16学級の間で推移



※現行基準による推計値

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 12,833.46㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	3,128.00㎡	1968年	52年
2	校舎2	324.00㎡	1968年	52年
3	校舎3	666.00㎡	1970年	50年
4	校舎4	480.00㎡	1985年	35年
5	給食用エレベータ棟	43.00㎡	2012年	8年
6	倉庫	27.00㎡	1985年	35年
7	体育倉庫	46.00㎡	2012年	8年
8	体育館	2,679.04㎡	2008年	12年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

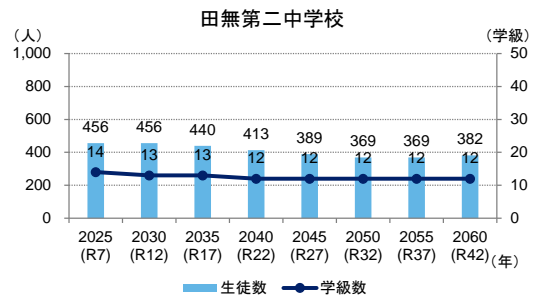
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	22 【1】	63	・通常授業の実施 ・特別支援学級の授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援学級の授業の実施 ・フリールーム	無
理科室(準備室含む)	2	121	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	2	94	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
美術室(準備室含む)	2	85	・図画工作を行う美術の授業	・図画工作を行う美術の授業	
技術室(準備室含む)	2	121	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	
家庭科室(準備室含む)	2	121	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
視聴覚室	1	63	・映像の上映を実施	・映像の上映を実施	
コンピューター室(準備室含む)	1	135	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(資料室含む)	1	126	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	16	・教育相談、進路相談	・教育相談、進路相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 田無第二中学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	122	170	164	145	138	117	116	143	177	161
2年生	134	124	172	169	146	138	117	117	144	174
3年生	123	134	124	170	165	145	137	118	116	143
合計	379	428	460	484	449	400	370	378	437	478
学級数	12	13	14	14	13	12	11	10	12	14



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和2～42年度…12～15学級の間で推移

※現行基準による推計値

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 18,013.14㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎	5,579.00㎡	1975年	45年
2	倉庫1	3.00㎡	1966年	54年
3	倉庫2	19.00㎡	1970年	50年
4	倉庫3	50.00㎡	1975年	45年
5	倉庫4	16.00㎡	2012年	8年
6	倉庫5	9.00㎡	2012年	8年
7	倉庫6	6.00㎡	2012年	8年
8	給食用エレベータ棟	34.00㎡	2012年	8年
9	プール附属棟	168.00㎡	1990年	30年
10	便所	14.00㎡	1978年	42年
11	機械室	7.00㎡	1975年	45年
12	陶芸小屋	27.00㎡	1975年	45年
13	体育館	905.00㎡	1966年	54年

※経過年数は2020年末時点

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」

## ◆保有教室の活用状況

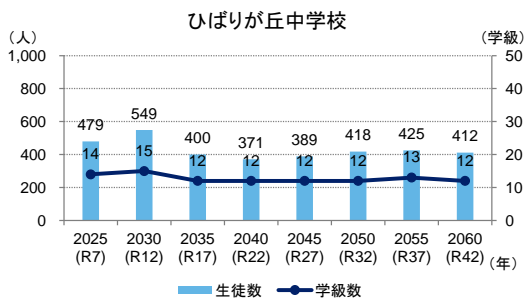
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	14 【4】	61	・通常授業の実施 ・特別指導学級の授業の実施	・通常授業の実施 ・通級指導学級 ・生徒会室 ・英語教室 ・少人数教室	無
理科室(準備室含む)	2	163	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	2	133	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
美術室(準備室含む)	2	115	・図画工作を行う美術の授業	・図画工作を行う美術の授業	
技術室(準備・工具室含む)	1	174	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	
家庭科室(準備室含む)	2	126	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
視聴覚室	1	61	・映像の上映を実施	・映像の上映を実施	
コンピューター室(準備室含む)	1	106	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(資料室含む)	1	212	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	30	・教育相談、進路相談	・教育相談、進路相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# ひばりが丘中学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	172	112	169	158	193	197	183	152	118	142
2年生	153	173	114	168	161	188	196	184	153	118
3年生	192	155	176	114	173	159	190	197	185	156
合計	517	440	459	440	527	544	569	533	456	416
学級数	14	12	13	13	16	15	16	15	13	11



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和2～42年度…11～16学級の間で推移

※現行基準による推計値

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 18,362.76㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	2,132.00㎡	1960年	60年
2	校舎玄関部分	30.00㎡	1983年	37年
3	校舎2	1,492.00㎡	1971年	49年
4	校舎3	256.00㎡	1972年	48年
5	校舎4	1,906.00㎡	1972年	48年
6	体育倉庫1	47.00㎡	1972年	48年
7	体育倉庫2	42.00㎡	2001年	19年
8	体育倉庫3	42.00㎡	2012年	8年
9	給食用エレベータ棟	34.00㎡	2012年	8年
10	プール更衣室	58.00㎡	1972年	48年
11	プール機械室	13.00㎡	1964年	56年
12	体育館	1,181.00㎡	1971年	49年

※経過年数は2020年末時点

敷地面積： 14,265.08㎡（移転後の状況）

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎	10,004.86㎡	2018年	2年
2	駐輪場	27.16㎡	2018年	2年
3	ポンプ室	6.00㎡	2018年	2年
4	屋外倉庫棟	110.04㎡	2018年	2年

※経過年数は2020年末時点

令和3年9月に新校舎へ移転する予定であり、移転後の「学校施設の保有量・老朽化状況」はこの表のとおりとなります。

【資料】：西東京市「施設カルテ2019」

## ◆保有教室の活用状況

教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室【特別活動教室】	11 [9]	63	・通常授業の実施	・通常授業の実施 ・生徒会室 ・多目的室 ・学習室 ・算数教室	—
理科室(準備室含む)	2	127	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	2	148	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
美術室(準備室含む)	1	135	・図画工作を行う美術の授業	・図画工作を行う美術の授業	
技術室(準備室含む)	2	154	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	
家庭科室(準備室含む)	2	124	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
視聴覚室	1	94	・映像の上映を実施	・映像の上映を実施	
コンピューター室(準備室含む)	1	138	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(資料室含む)	1	83	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	63	・教育相談、進路相談	・教育相談、進路相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

## ◆備考

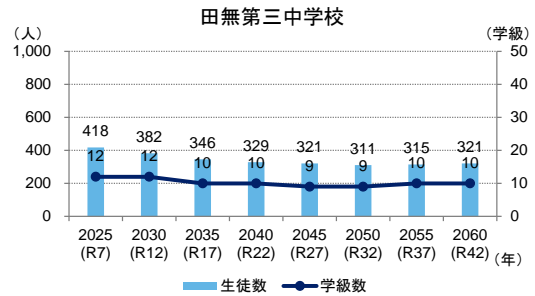
令和3年度に校舎の移転を予定している。移転後の「保有教室の活用状況」は調整中。



# 田無第三中学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	143	110	106	134	121	112	100	118	126	131
2年生	142	144	111	105	133	121	111	100	117	125
3年生	113	146	143	111	106	134	122	110	101	118
合計	398	400	360	350	360	367	333	328	344	374
学級数	11	11	11	10	11	12	10	10	10	11



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和5～6年度…現在の学級数+2学級（13学級で推移）

※現行基準による推計値

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 15,779.00㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	1,906.00㎡	1961年	59年
2	校舎2	1,635.00㎡	1962年	58年
3	校舎玄関部分	16.00㎡	1971年	49年
4	校舎3	809.00㎡	1971年	49年
5	校舎4	227.00㎡	1984年	36年
6	倉庫1	25.00㎡	1994年	26年
7	倉庫2	34.00㎡	2011年	9年
8	倉庫3	82.00㎡	1971年	49年
9	給食用エレベータ棟	31.00㎡	2011年	9年
10	便所	8.00㎡	2011年	9年
11	プール附属室	11.00㎡	1971年	49年
12	プール更衣室	50.00㎡	1971年	49年
13	プール機械室	5.00㎡	2011年	9年
14	ポンプ室	7.00㎡	1961年	59年
15	体育館	912.00㎡	1968年	52年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

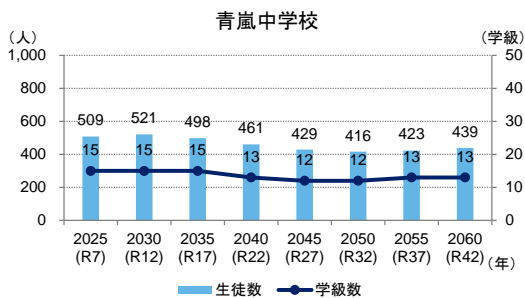
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	11 【6】	63	・通常授業の実施	・通常授業の実施 ・生徒会室 ・少人数教室	無
理科室(準備室含む)	2	108	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	94	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
美術室(準備室含む)	2	94	・図画工作を行う美術の授業	・図画工作を行う美術の授業	
技術室(準備室含む)	2	112	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	
家庭科室(準備室含む)	2	112	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
視聴覚室	1	63	・映像の上映を実施	・映像の上映を実施	
コンピューター室(準備室含む)	1	85	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(準備室含む)	1	155	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	63	・教育相談	・教育相談	
進路資料・指導室	1	63	・進路相談	・進路相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 青嵐中学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	149	144	150	145	154	115	155	146	147	151
2年生	124	151	144	152	146	158	116	153	148	149
3年生	133	127	154	144	154	146	158	117	152	148
合計	406	422	448	441	454	419	429	416	447	448
学級数	12	12	13	13	13	12	12	12	13	13



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

※現行基準による推計値

令和4～5、8～9年度…現在の学級数+3学級（16学級で推移）

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 17,004.50㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎	10,297.35㎡	2007年	13年
2	体育倉庫	54.00㎡	2007年	13年
3	便所	20.40㎡	2007年	13年
4	ごみ置場	11.44㎡	2007年	13年
5	ポンプ室	8.00㎡	2007年	13年
6	体育館	2,866.61㎡	2007年	13年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室【特別活動教室】	18【9】	77	・通常授業の実施 ・特別支援学級の授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援学級の授業の実施 ・生徒会室 ・多目的室 ・学年室、学習室	無
理科室(準備室含む)	2	140	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室・楽器庫含む)	2	151	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
美術室(準備室含む)	1	169	・図画工作を行う美術の授業	・図画工作を行う美術の授業	
技術室(準備室含む)	2	140	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	
家庭科室(準備室含む)	2	140	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
視聴覚室	1	112	・映像の上映を実施	・映像の上映を実施	
コンピューター室(準備室含む)	1	121	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室	1	192	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	20	・教育相談	・教育相談	
進路資料・指導室	1	19	・進路相談	・進路相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 柳沢中学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

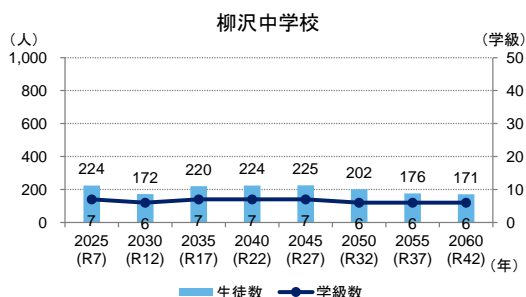
年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	88	102	88	83	84	84	79	64	77	69
2年生	106	89	103	89	84	84	85	79	64	78
3年生	99	108	90	103	89	84	84	85	76	65
合計	293	299	281	275	257	252	248	228	217	212
学級数	9	9	9	9	9	9	9	7	7	6

【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和2～42年度…6～8学級の間で推移



※現行基準による推計値

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 13,831.30㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	1,314.00㎡	1972年	48年
2	校舎2	1,076.00㎡	1972年	48年
3	校舎3	1,427.00㎡	1972年	48年
4	プール更衣室1	37.00㎡	1972年	48年
5	プール更衣室2	25.00㎡	1972年	48年
6	校舎4	1,187.00㎡	1986年	34年
7	渡り廊下	56.00㎡	1986年	34年
8	給食用エレベータ棟	32.00㎡	2012年	8年
9	体育倉庫	51.00㎡	2012年	8年
10	便所	9.00㎡	2012年	8年
11	体育館	1,189.00㎡	1975年	45年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

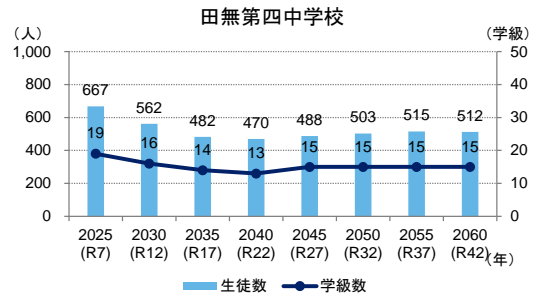
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	6 【10】	63	・通常授業の実施	・通常授業の実施 ・生徒会室 ・多目的室 ・少人数教室 ・特別活動室	無
理科室(準備室含む)	2	132	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	132	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
美術室(準備室含む)	2	110	・図画工作を行う美術の授業	・図画工作を行う美術の授業	
技術室(準備・工具室含む)	2	146	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	
家庭科室(準備室含む)	2	140	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
視聴覚室	1	132	・映像の上映を実施	・映像の上映を実施	
コンピューター室(準備室含む)	1	141	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(資料室含む)	1	160	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	31	・教育相談、進路相談	・教育相談、進路相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 田無第四中学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
1年生	183	181	192	154	181	170	178	158	183	184
2年生	198	187	180	194	155	179	174	179	157	184
3年生	185	199	187	187	201	153	180	174	179	158
合計	566	567	559	535	537	502	532	511	519	526
学級数	15	15	15	15	16	14	16	15	14	14



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和4～10年度…現在の学級数+3～5学級（17～19学級で推移）

※現行基準による推計値

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 13,527.50㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎	5,535.00㎡	1977年	43年
2	倉庫	39.00㎡	1981年	39年
3	給食用エレベータ棟	40.00㎡	2011年	9年
4	体育館	1,363.00㎡	1978年	42年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

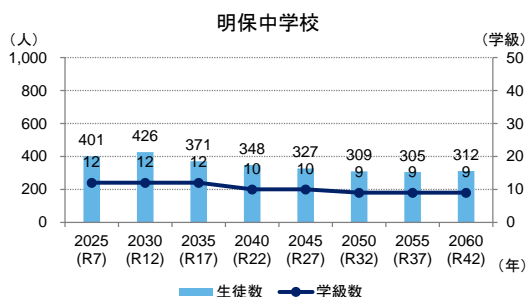
教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	14 [6]	64	・通常授業の実施	・通常授業の実施 ・少人数教室 ・学習室	無
理科室(準備室含む)	2	131	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	2	132	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
美術室(準備室含む)	2	132	・図画工作を行う美術の授業	・図画工作を行う美術の授業	
技術室(準備室含む)	2	142	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	
家庭科室(準備室含む)	2	148	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
コンピューター室(準備室含む)	1	101	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室	1	177	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	2	26	・教育相談	・教育相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

# 明保中学校

## ◆児童・生徒数及び学級数の推移

年	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2
1年生	123	103	87	125	90	125	96	124	117	133
2年生	127	129	102	88	124	90	124	97	124	115
3年生	120	127	129	100	89	126	90	124	98	123
合計	370	359	318	313	303	341	310	345	339	371
学級数	11	11	10	10	10	11	10	11	11	11



【資料】：実績値 西東京市「事務報告書」

推計値「就学人口推計結果」

【推計結果（現行基準）と現在の学級数との比較】

令和2～42年度…9～13学級の間で推移

※現行基準による推計値

## ◆学校施設の保有量・老朽化状況

敷地面積： 13,459.01㎡

No.	建物名称	延床面積	建築年	経過年数
1	校舎1	4,185.00㎡	1983年	37年
2	校舎2	476.00㎡	1983年	37年
3	校舎3	1,233.00㎡	1983年	37年
4	武道場	1,842.00㎡	1983年	37年
5	給食用エレベータ棟	47.00㎡	2011年	9年
6	体育倉庫	33.00㎡	1983年	37年

【資料】：西東京市「施設カルテ 2019」 ※経過年数は2020年末時点

## ◆保有教室の活用状況

教室名	教室数	平均面積 (㎡)	利用用途	利用実態	空きスペースの有無
普通教室 【特別活動教室】	11 【7】	63	・通常授業の実施 ・特別指導学級の授業の実施	・通常授業の実施 ・特別支援教室 ・通級指導学級 ・生徒会室 ・学習室	無
理科室(準備室含む)	2	127	・実験を伴う理科の授業	・実験を伴う理科の授業	
音楽室(準備室含む)	1	128	・楽器演奏を伴う音楽の授業	・楽器演奏を伴う音楽の授業	
美術室(準備室含む)	2	112	・図画工作を行う美術の授業	・図画工作を行う美術の授業	
技術室(準備室含む)	1	152	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	・木材加工、金属加工を伴う技術の授業	
家庭科室(準備室含む)	2	152	・調理実習を伴う家庭科の授業	・調理実習を伴う家庭科の授業	
視聴覚室	1	63	・映像の上映を実施	・映像の上映を実施	
コンピューター室(準備室含む)	1	152	・パソコンを使用したコンピューターの授業	・パソコンを使用したコンピューターの授業	
図書室(司書室含む)	1	126	・書物の貸出、閲覧	・書物の貸出、閲覧	
相談室	1	33	・教育相談	・教育相談	
進路資料・指導室	1	29	・進路相談	・進路相談	

【資料】：西東京市教育委員会資料

## 西東京市学校施設適正規模・適正配置に関する基本方針

---

令和3年2月

発行 西東京市教育委員会

編集 西東京市教育委員会 教育部教育企画課

〒188-8666

西東京市南町五丁目6番13号(田無第二庁舎)

TEL:042-464-1311(代表)

FAX:042-420-2891

ホームページ <http://www.city.nishitokyo.lg.jp>

メールアドレス [kyouiku-k@city.nishitokyo.lg.jp](mailto:kyouiku-k@city.nishitokyo.lg.jp)

---